

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331A	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：井手裕子） Seminar: Study of Methodology for Infantile EducationⅠ	井手 裕子		共通	1	必修	2前期
科目の概要							
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。							
学修内容				到達目標			
① 研究課題に対し、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ② 各自の研究課題に対して、必要な素材を集める。 ③ げんき館活動による保育・教育実践の計画及び実施。 ④ 自分の性格、心の一部分を理解するために、心理検査を体験する。 ⑤ 幼児に対する人間関係のスキルアップについて、自ら体験しながら学ぶ。				① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ② 研究成果を報告、発表する為の素材を集めることができる。 ③ 岡崎げんき館で子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる。 ④ 自分自身を理解することで乳幼児の理解と保護者への理解が向上し、積極的に関係できるようになる。 ⑤ 保育者として、幼児への教育的配慮が行える。 ⑥ 以上から、幼児の発達に即した遊びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法―幼児の発達に応じた保育を展開すること、具体的には情報機器、教材使用―を身に付けられる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題を行うために必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	期日までに作品を仕上げるため見の通し（手順や方法）を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	あらゆる事象に対して開かれた視点を持ち、課題として見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内の発表等において、聞き手にわかりやすく伝える工夫をすることができる。また、そのための準備（要点の整理、声の大きさ、スピード等）を怠らない態度がある。					
	傾聴力	グループワーク等で、人の意見をよく聴き、話し手が何を言いたいのかを察する姿勢を持ち、それに対する自分の意見を述べるすることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし ※プリントは適宜配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：幼児学ゼミナールⅡ 資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士							
学修上の助言				受講生とのルール			
乳幼児観察を通して、子どもの発達の経緯を具体的に理解するとともに、母子関係の状態を把握できるようにしていくことが重要である。				調べ学習、発表、グループ討議、相互に教え合う等を行うアクティブ・ラーニング形式の授業に、意欲的に参加すること。集団のなかの自分を意識しながら活動してほしい。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	40	①	✓	⑥	✓	自分の研究したいテーマ、研究の方法についてまとめることができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥	✓	・げんき館でのプレゼンテーションに関する遊び等についてシミュレーションし、発表することができる。 ・自分の研究したいテーマに関連した論文を要約して発表することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性）調べ学習の自発性 （実行力）実験、観察、地域活動等の課題にも粘り強く取り組むことができる （課題発見力）地域活動等の際、対象のニーズを把握し、問題解決できる。 （創造力）事例や教科書の解説通りでなく、それを土台とした自らの発想を通して問題解決方法を考案したり、支援計画を考えたりすることができる。 （発信力）グループ討議、プレゼン準備の結果を、他者にわかりやすく伝えることができる。 （傾聴力）発信者の意見を自分の立場に置き換え、意図をくみ取りながら聴くことができる。 （状況把握力）効果的な観察を通して対象や自分の置かれた状況を正確に把握することができる。 （規律性）学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、ほぼ完璧に力を発揮した場合。 A：上記評価方法において、満遍なく十分な力を発揮した場合。	B：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、十分ではないが力を発揮し、もしくは2評価において十分な力を発揮した場合。 C：2つの評価において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価において十分な力を発揮した場合。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション	講義 グループ討議 (自己紹介)	1年間のゼミ活動の目標 や課題が理解でき、前期の目標が説明できる。 自己紹介により、メンバー間の交流ができる。 親子観察法を学習する。	復習：プリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	げんき館活動準備①	前回の授業のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 発表	当ゼミのげんき館テーマである「親子で遊ぶう」に添った準備を行う。 手遊び歌の選定準備を協力して行う。 親子観察で見たいものを選定する。	予習：親子観察によって見たい事象を考える。 復習：手遊び歌を調べ、身につける。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	チームで働く力を高める 1, 2年生合同ゼミ	演習	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	復習：レポートを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	チームで働く力を高める 1, 2年生合同ゼミ	演習	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	復習：レポートを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	げんき館活動準備②	前回の授業のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 練習、発表	・げんき館活動の、具体的な計画を作成することができる。 ・タイムスケジュールを組むための話し合いを行うことができる。 ・親子観察の練習を行うことができる。	復習：手遊びを身につける。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	げんき館活動を行う (1回目) ※他ゼミとの予定の兼ね合いで、別の週の内容と入れ替わる場合がある。	地域活動実践	・げんき館に実際に行き、未満児や保護者との遊びを通じた交流を行いながら必要な援助、指導を行うことができる。 ・子ども観察を行うことができる。	予習：手遊び歌、観察法について確認する。 復習：活動を振り返る(げんき館活動振り返りシート)。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	げんき館まとめ	前回の授業のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 レポート	親子観察の結果を話し合い、反省、まとめをすることができる。	復習：反省、今後の課題を記した記録プリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	研究テーマをみつける。 心理学実験について学ぶ	前回の授業のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議で実験を決定する。 実験演習	自分の調べたテーマの基礎について興味を持って調べ学習を行うことができる。	予習：自分の研究テーマをさがす。 復習：心理実験のプリントを読み直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	研究テーマをみつける 自分の興味のある論文 を演習する	前回授業のフィード バックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるた めの論文の要点をまと めて発表することがで きる。	予習：自分の研究テー マに役立つ論文をさが す。 復習：研究のまとめた 要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	研究テーマをみつける 自分の興味のある論文 を演習する	前回授業のフィード バックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるた めの論文の要点をまと めて発表し、その内容 について討論すること ができる。	予習：自分の研究テー マに役立つ論文をさが す。 復習：研究のまとめた 要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	研究テーマをみつける 自分の興味のある論文 を演習する	前回授業のフィード バックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるた めの論文の要点をまと めて発表し、その内容 について討論すること ができる。	予習：自分の研究テー マに役立つ論文をさが す。 復習：自分と他者の発 表を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	研究テーマをみつける 自分の興味のある論文 を演習する	前回授業のフィード バックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるた めの論文の要点をまと めて発表し、その内容 について討論すること ができる。	予習：自分の研究テー マに役立つ論文をさが す。 復習：自分と他者の発 表を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	研究テーマをみつける 自分の興味のある論文 を演習する	前回授業のフィード バックおよび解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるた めの論文の要点をまと めて発表し、その内容 について討論すること ができる。	予習：自分の研究テー マに役立つ論文をさが す。 復習：自分と他者の発 表を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	論文（レポート）の書 き方を学ぶ	前回授業のフィード バックおよび解説 講義 演習	実際の研究テーマが決 まったら、どのように 進めていくのかを理解 し、実際に書いてみる ことができる。	予習：自分の研究テー マに役立つ論文をさが す。 復習：研究のまとめた 要点を再度見直す	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	全体の振り返りとまと めを行う。 後期の計画を練る	前回授業のフィード バックおよび解説 講義 グループ討議 質疑応答	前期のゼミ活動を自ら まとめ、整理した文章 を発表することができる。 また、後期のゼミ活 動について計画立案す ることができる。	復習：他者の発表や自 分の発表を振り返る。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331B	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：伊藤照美） Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	伊藤照美		共通	1	必修	2前期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。
また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。

学修内容	到達目標
① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組む、研究・実践する。 ② 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③ 「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ② 研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。 ③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：各ゼミナールにて提示される
参考文献：幼保連携型認定こども園教育、幼稚園教育要領

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：すべての科目と関連する。
資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・各ゼミナールの担当教員が評価する。 ・「研究報告会への取り組み」や「幼児学ゼミナール抄録集」、「げんき館での活動」が評価される。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 （実行力） 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 （想像力） 物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 （発信力） 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 （傾聴力） 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 （規則性） 学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 総合評価79～70B（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナール活動の目的 と内容について確認する 身体表現や遊びを通して 運動の楽しさを理解する	演習	シラバスを読んでおく	シラバスを参照しておく	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	室内スポーツ活動 球技型2種目選択し企画・立案する	演習 全員で考えてスポーツ をする 理解確認 フィードバック	2種目の球技型スポーツの内容・ルールが理解・習得できる	持久力をつけるため適度に運動しておく 2種目の運動を復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	1.2年生合同ゼミナール	演習 理解確認 フィードバック	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる	準備運動をしておく 適度に運動しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	1.2年生合同ゼミナール	演習 理解確認 フィードバック	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる	準備運動をしておく 適度に運動しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	室内スポーツ活動 集団あそびの企画・立案、実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてスポーツ をする 理解確認 フィードバック	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備 こどもまつりのテーマソングの踊りの練習、 どうぶつ体操などの練習をする	持久力をつけるため適度に運動しておく 準備運動をしておく 前回選択した球技型2種目の内容・ルールを復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	室内スポーツ活動 集団あそびの企画・立案、実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてスポーツ をする 理解確認 フィードバック	企画した集団あそびの内容・ルールが理解・習得できる	持久力をつけるため適度に運動しておく 準備運動をしておく 前回選択した球技型2種目の内容・ルールを復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	外スポーツ活動 道具を使わない外での遊びを企画・立案、実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 グループで考えたことを教える 理解確認 フィードバック	企画した外での遊びについて内容・ルールが理解・習得できる	持久力をつけるため適度に運動しておく 準備運動をしておく 前回選択した球技型2種目の内容・ルールを復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備 こどもまつりのテーマソングの踊りの練習、 どうぶつ体操などの練習をする	演習 理解確認 フィードバック	オープンキャンパス・ボランティア活動の企画立案と準備を積極的 にできる	テーマソング、どうぶつ体操の予習復習をする 適度に運動しておく オープンキャンパスやこどもまつりで使用する道具など事前に準備をしておく	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備 こどもまつりのテーマソングの踊りの練習、どうぶつ体操などの確認をする	演習 理解確認 フィードバック	オープンキャンパス・ボランティア活動の企画立案と準備を積極的 にできる	テーマソング、どうぶつ体操の予習復習をする 適度に運動しておく オープンキャンパスやこどもまつりで使用する道具など事前に準備 をしておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	ニュースポーツを子ども向けにアレンジする (ソフトディスクを使った各種のニュースポーツ) 実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 全員で考えてニュースポーツをする 理解確認 フィードバック	積極的に行うことができる アレンジして考えたニュースポーツの内容・ルールが習得できる	持久力をつけるため 適度に運動しておく 事前にニュースポーツを確認しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ニュースポーツを子ども向けにアレンジする (ネット型を使った各種のニュースポーツ) 実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてニュースポーツをする 理解確認 フィードバック	積極的に行うことができる 全員でアレンジして考えたニュースポーツの内容・ルールが習得できる	持久力をつけるため 適度に運動しておく 事前にニュースポーツを確認しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	身体表現・リズム体操を考える (2.3歳児のふれあい歌あそびから2～3曲) 実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 各グループで考えたことを教える 理解確認 フィードバック	積極的に行うことができる 発育年齢に応じた動きを考えることができる	持久力をつけるため 適度に運動しておく 柔軟体操をしておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	身体表現・リズム体操を考える (2.3歳児のふれあい歌あそびから2～3曲) 実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 各グループで考えたことを教える 理解確認 フィードバック	積極的に行うことができる 発育年齢に応じた動きを考えることができる	持久力をつけるため 適度に運動しておく 柔軟体操をしておく リズム体操を復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	実習・就職活動への課題に取り組む	演習 理解確認 フィードバック	積極的に行うことができる	実習先・就職希望先を調べておく 課題を準備しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	実習・就職活動への課題に取り組む	演習 理解確認 フィードバック	積極的に行うことができる	実習先・就職希望先を調べておく 課題を準備しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331C	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：伊藤智式） Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	伊藤 智式		共通	1	必修	2前期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。
このゼミのテーマは「子どもの遊びを考える」である。実際に子どもの遊びを体験し遊びの楽しさを味わい、新しい遊びを創造すると共に、子どもたちに楽しさを伝える術を学ぶ。また、子どもの遊びや子どもに関する行事についての調査や研究を行う。子どもの遊びを究め、保育者としていつも子どもたちに楽しさを伝えられるピエロのような存在になってほしい。

学修内容	到達目標
① 子どもの遊び等についての課題を実践する。 ② 個人の研究テーマを設定し、取り組む ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表の準備と実践をする。 ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと実践的に関わる。	① 実践課題を積極的に取り組み、体得することができる。 ② 個人の研究を主体的に取り組み、成果を出すことができる。 ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、他者と協力し積極的に取り組むことができる。 ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと積極的に関わるることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がでせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：特になし。 資料を随時配布する。
参考文献：特になし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：すべての科目と関連する。
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
- 積極的に参加する。 - 勇気を出して前に踏み出す。	教員学生間でのTPOに応じた礼節を重んじる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・実践課題の達成度(50) ・げんき館での活動成果(10) ・ゼミ研究報告会までの総合的な取り組み（30）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) ・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。 (働きかけ力) ・グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。 (実行力) ・実践課題を習得できるように粘り強く取り組むことができる。 (課題発見力) ・子ども遊びや安全管理についての問題点を認識できる。 (創造力) ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。 (発信力) ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。 (傾聴力) ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。 (状況把握力) ・周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・ゼミの課題に対して積極的に取り組み、ゼミで学んだ研究成果や表現技能、指導法などを応用的に実践することができる。(A) ・学習修得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。(S)	・ゼミの課題に対して取り組むことができる。(C) ・個人やグループにおいて、研究成果や表現技能などを具体的に実践することができる。(B)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの目的と内 容について確認する。	演習	ゼミの活動を理解し、 個人の目標を設定でき る。	予習としてシラバスを 参照しておく。	30	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	子どもの遊び、コマ回 し、ビー玉、皿回しを 体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループ ワーク、 実技についての相互評 価にてフィードバック	コマ回し、ビー玉、皿 回しの遊び方を修得で きる。指導法を理解し 説明できる。	コマ回し、ビー玉、皿 回しの遊び方を復習す る。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 規律性
3	1.2年生合同ゼミナー ル 幼児向け運動会	演習、実技・グループ ワーク、 実技についての相互評 価にてフィードバック	学生・教員と相互の交 流を積極的におこなう ことができる。	授業の反省点をまとめ る。	30	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
4	1.2年生合同ゼミナー ル 幼児向け運動会	演習、実技・グループ ワーク、 実技についての相互評 価にてフィードバック	学生・教員と相互の交 流を積極的におこなう ことができる。	授業の反省点をまとめ る。	30	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの遊び、ブンブ ンゴマ、紐を使った玩 具、皿回しを体験し指 導法を学ぶ。	演習、実技・グループ ワーク、 実技についての相互評 価にてフィードバック	子どもの遊び、ブンブ ンゴマ、紐を使った玩 具、皿回しの遊び方を 習得できる。指導法を 理解し説明できる。	ブンブンゴマ、紐を 使った玩具、皿回しの 遊び方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
6	子どもの外遊び、探偵 ごっこ、缶蹴り、ポコ ペンなどを体験し指導 法を学ぶ。	演習、実技・グループ ワーク、 実技についての相互評 価にてフィードバック	子どもの外遊び、探偵 ごっこ、缶蹴り、ポコ ペンなどの遊び方を習 得できる。指導法を理 解し説明できる。	探偵ごっこ、缶蹴り、 ポコペンなどの遊び方 を復習する。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
7	子どもの遊び、ゴムと び、おはじき、折り紙 などを体験し指導法を 学ぶ。	演習、実技・グループ ワーク、 実技についての相互評 価にてフィードバック	子どもの遊び、ゴムと び、おはじき、折り紙 などの遊び方を習得で きる。指導法を理解し 説明できる。	ゴムとび、おはじき、 折り紙などの遊び方を 復習する。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
8	子どもの遊びの中で、 回転体の原理を利用し た遊びについて学ぶ。	演習、実技・グループ ワーク、 実技についての相互評 価にてフィードバック	子どもの遊びの中で、 回転体の原理を利用し た遊びについて理解し 説明できる。	回転体の原理を復習 し、その応用を考え る。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	遊びについての個人研究を深める。子どもの遊び、バルーンアートを学ぶ。	演習、実技・グループワーク、 実技についての相互評価にてフィードバック	遊びについての個人研究のテーマを明確にできる。子どもの遊び、バルーンアートの遊び方を習得できる。	遊びについての個人研究を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	遊びについての個人研究を深める。子どもの遊び、あやとり、ゴムとびを学ぶ。	演習、実技・グループワーク、 実技についての相互評価にてフィードバック	遊びについての個人研究の計画を明確にできる。子どもの遊び、あやとり、ゴムとびの遊び方を習得できる。	遊びについての個人研究を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	ピエロの演技方と技能について学ぶ。パントマイム、ディアボロ、デビルスティック、シガーボックスなどの技能を学ぶ。	演習、実技・グループワーク、 実技についての相互評価にてフィードバック	パントマイム、ディアボロ、デビルスティック、シガーボックスなどの技能ができる。	遊びについての個人研究を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六など体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六などの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六などの遊び方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	岡崎げんき館での活動を企画・立案する。	演習、グループ討議、 立案用紙の評価	積極的に参加し、岡崎げんき館での活動を企画・立案をできる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性
14	岡崎げんき館での活動計画を再考し、リハールをする。	演習、グループ討議、 実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	岡崎げんき館での活動計画を理解し説明できる。自分の役割を認識し説明できる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	岡崎げんき館での実践予定をもとに役割分担に対して責任を持ち実践する。	実技・グループワーク、 実践評価にてフィードバック	自分の役割を理解し実践できる。	自分の役割を理解し実践できるように予習しておく。反省点を振り返る。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331D	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：太田美鈴）	太田美鈴		共通	1	必修	2前期
科目の概要							
テーマ「なんでも保育になるよ」をテーマに小グループによるゼミナールを行なう。いろいろな教材を保育内容に展開できるように、自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。 また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学修を統合し、保育の実践につなげていく。単位としてはⅠとⅡに分かれているが、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの研究活動である。幼児教育の現場で活躍するための専門的知識・技能を習得する。							
学修内容				到達目標			
① 各自が主体的に取り組み、研究・実践する ② 報告・発表ができるように素材収集を実施する ③ 子どもたちとの実践的な関わりを理解する ④ 実施内容の指導案の作成と評価反省について理解する				① 各自の研究課題に対し主体的に取り組むことができる ② 研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる ③ 実践に積極的に取り組み、その体験を保育実践に活用できる ④ 保育内容の指導案を作成することで、保育技能を高める			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題解決に必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	目標到達に向けて、人の力を借りるための声掛けができる。					
	実行力	期限内に作品を仕上げるための手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づき客観的に情報を整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力	グループで時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考え、期限内に完成できるよう進めることができる。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントを整理し、発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を聴き、さらに自分の意見を述べるすることができる。					
	柔軟性	グループ討議では、自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができるところを考え、目標に向かって協力できる。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗した時に強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：各ゼミナールにて提示される 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての科目と関連する。 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士							
学修上の助言				受講生とのルール			
学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。				欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・研究課題に対して意欲的に取り組み、発信できる。 ・課題に対して、チームで協力し課題解決に尽力することができる。 ・課題に対して、問題意識を持ち、深く考えることができ、その考えをチームに理解してもらうように説明することができる。 ・「研究課題への取り組み」「活動に対しての積極的参加」、「げんき館での活動」に対しての積極性を評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） ・必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができる。（実行力） ・一度始めたことは最後までやり切ることができる。（課題発見力） ・事実に基づいて客観的に情報を整理し、課題を見極めることができる。（想像力） ・固定概念に捉われず、いろいろな方向から考えることができる。（発信力） ・予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。（傾聴力） ・教員や学生の意見を聴き、さらに自分の意見を述べることができる。（規則性） ・授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて研究成果を具体化し分かりやすく発表することができる。また、学修した知識や技能が保育者として、保育実践で積極的に生かすことができる。 総合評価90点以上S(秀)、89～80点A(優)とする。	各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて研究成果を発表することができる。また、学修した知識や技能が保育者として、保育実践で生かすことができる。 総合評価79～70点以上B(良)、69～60点C(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミ活動の目的と内容 について確認する。 教材研究を通して環境 を通した保育について 考える。	グループワーク 保育教材と環境を通し た保育について協議を する。 本日の振り返りをレ ポートにまとめ、 フィードバックする。	シラバスを読み保育教 材について知る	(予習) シラバスを読 んでおく (復習) 保育教材に適 したものを研究する	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
2	ゼミ活動の予定を企画 立案する。	グループワーク テーマに沿った活動を 計画する。 本日の振り返りをまと めフィードバックす る。	ゼミのテーマを理解 し、話し合いに参加す る。他者に伝わるよう に話す。	(予習) 保育教材を考 えておく。 (復習) 企画案を見直 し、今後の見通しを持 つ。	90	主体性 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
3	1, 2年生合同ゼミ	演習 「1年生との交流を深 める」 本日の振り返りをレ ポートをまとめフィード バックする。	学生・教員と相互の交 流を積極的に行うこと ができる。	(予習) 適度に運動し ておく。 (復習) 保育実践に活 用する方法を考える。	90	主体性 実行力 規律性
4	1, 2年生合同ゼミ	演習 「1年生との交流を深 める」 本日の振り返りをレ ポートにまとめフィード バックする。	学生・教員と相互の交 流を積極的に行うこと ができる。	(予習) 適度に運動し ておく。 (復習) 保育実践に活 用する方法を考える。	90	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの身近にある環 境から保育教材を探 る。	グループワーク 子どもの興味関心を中 心にした保育教材を考 え話し合う。 本日の活動を振り返り レポートにまとめ フィードバックする。	身近な素材を保育内容 に展開して考えること ができる。	(予習) 保育教材とな るものを探しておく。 (復習) 様々な年齢に 合う保育の展開を考案 する。	90	実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
6	自然素材を使った保育 内容の研究をする。 (泥、水、砂)	グループワーク どのような素材が適し ているか話し合う 演習 光る泥団子の素材につ いて研究し、試行錯誤 しながら制作する 作品を解説しフィード バックする。	泥団子制作を通して遊 びの楽しさを知ること ができる。	(予習) 土、砂の性質 を研究し、泥団子の作 り方を調べておく。 (復習) 様々な年齢に 合う保育の展開を考案 する。	90	実行力 課題発 見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	自然素材を使った保育 内容の研究をする。 (泥、水、砂)	グループワーク 自分の作品の問題点を 出し合い、改善する。 演習 光る泥団子の素材につ いて研究し、試行錯誤 しながら制作する 作品を解説しフィード バックする。	素材の選び方によって 出来栄の違いに気付 き、改善することがで きる。	(予習) 土、砂の性質 を研究し、改善策を考 えておく。 (復習) 様々な年齢に 合う保育の展開を考案 する。	90	実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	身近にある素材を使っ て季節に合った遊びを 研究する。(石鹼、 カップなど)	演習 石鹼ケーキの素材につ いて研究し、試行錯誤 しながら制作する。 作品を解説しフィード バックする。	石鹼ケーキ制作を通し て遊びの楽しさを知 る。	(予習) 石鹼の性質を 研究し、石鹼ケーキの 作り方を調べておく。 (復習) 様々な年齢に 合う保育の展開を考案 する。	90	実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	石鹼ケーキ制作を通して遊びの楽しさを知る。	演習 石鹼の性質を考えて泡立てや着色の仕方などを研究し、試行錯誤しながら制作する。 作品を解説しフィードバックする。	石鹼の素材を生かした制作方法を知る。	(予習) 石鹼の性質を研究し、石鹼ケーキの作りの改善策を考えておく。 (復習) 様々な年齢に合う保育の展開を考案する。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
10	身近にある素材を使って季節に合った遊びを研究する。(小麦粉粘土)	グループワーク 小麦粉を使った遊びを協議し、指導計画を考える。 本日の振り返りをまとめ、フィードバックする。	小麦粉を使った遊びを知り、保育内容に取り入れようとする。	(予習) 小麦粉を使った遊びを調べておく。 (復習) 本日の活動を振り返り、保育実践に活用する方法を考える。	90	主体性 創造力 発信力 傾聴力
11	小麦粉の性質を研究し、小麦粉粘土を使った遊び考案する。	演習 小麦粉の性質を生かした遊びを楽しみ、作品にする。 作品の解説をしフィードバックする。	小麦粉の性質を生かした作品作りの方法が分かる。	(予習) 小麦粉を使った遊びと保存方法を考えておく。 (復習) 様々な年齢に合わせた保育展開の方法を考える。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	岡崎げんき館活動計画を企画・立案する。(準備)	演習 ゼミ生全員が協力、役割分担をし活動する。 本日の活動を振り返りレポートにまとめ、フィードバックする。	指導計画を立案し、共通理解のもと自分の役割を認識する。	(予習) 企画案を考えておく (復習) 役割を自覚し確認する。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	岡崎げんき館での実践計画に従い責任をもって行動をする。(実践活動)	演習 実践計画のもとに親子の前で実践する。 本日の振り返りを発表し合い、学んだことをフィードバックする。	実践の中で臨機応変に対応することができる。	(予習) 自分の役割を理解し、実践できるように確認しておく。 (復習) 実践から学んだことを振り返り、改善策を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	岡崎げんき館活動を振り返る。(レポート作成)	演習 岡崎げんき館の活動を振り返り、レポートにまとめる。 レポート、実践を解説し、フィードバックする。	自分の課題を理解し、次に生かそうとする。	(予習) 岡崎げんき館の活動を振り返り考えをまとめておく。 (復習) 課題の改善策を考え次に生かせるようにしておく。	90	主体性 課題発見力 発信力 規律性
15	様々な素材を使った保育内容を研究する。	グループワーク 持ち寄った案を実践し、評価し合う。 今までの活動を振り返りレポートにまとめる。	積極的に参加し、発達に合わせた保育内容の展開を考えることができる。	(予習) 様々な素材を活用した保育内容を考えておく。 (復習) 様々な人の視点を知り、さらなる素材の活用方法を考案する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331E	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：児玉珠美） Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	児玉珠美		共通	1	必修	2前期
科目の概要							
幼稚園教育要領及び保育所保育指針等を踏まえ、各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、地域親子との交流や、「岡崎げんき館」における模擬保育活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。							
学修内容				到達目標			
① 子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究し、実践する。 ② 乳幼児への語りかけ方であるマザリーズについて理解を深め、マザリーズを活かし歌遊びや絵本読み聞かせについて学び、実践する。 ③ 地域の親子との交流や、「岡崎げんき館」の模擬保育活動を通して、乳幼児への語りかけの実践力を身に付ける。				① 子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究し、実践することができる。 ② 乳幼児への語りかけ方であるマザリーズについて理解を深め、マザリーズを活かした歌遊びや絵本読み聞かせを実践することができる。 ③ 地域の親子との交流や、「岡崎げんき館」の模擬保育活動を通して、乳幼児への語りかけの実践力を身に付けることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ゼミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	決められた期限までに課題に取り組み、完成させることができる。					
考え抜く力	課題発見力	自分の不足している力に気付き、課題の克服に向けて具体的な努力をしていくことができる。					
	計画力						
	創造力	自分の得意な分野を活かした創意工夫ある表現をすることができる。					
チームで働く力	発信力	授業において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。親子との交流において、積極的に語りかけることができる。					
	傾聴力	他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：教員作成プリント 参考文献：『はじめての幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』フレーベル館（1000円）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての開講科目		資格との関連：幼稚園教諭二種、保育士					
学修上の助言				受講生とのルール			
幼児学ゼミナールは、保育者養成のすべての学びを総合的かつ実践的に活かしていく授業である。主体的、対話的な姿勢で臨むこと。				・無遅刻・無欠席を厳守すること。 ・結果のみではなく、過程の意欲と努力を評価する。 ・ゼミ全体が前向きな雰囲気になる言動を心がけること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	10	①	✓			・実践活動後、振り返りレポートに取り組み、その後の課題を明らかにしていくこと。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	80	①	✓			・地域の乳幼児親子との交流に向けて、積極的にグループワークに参加すること。 ・学泉マザリーズひろばや岡崎げんき館での模擬保育に向けて、各グループや個人の自主的な練習に取り組むこと。 ・交流活動時の成果と同時に、交流までの取り組みの姿勢を重視した評価をする。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) ゼミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。 (実行力) 決められた期限までに、課題を完成させることができる。 (課題発見力) 自分の不足している力に気づき、克服するための課題を明確にし、具体的な努力をしていくことができる。 (創造力) 乳幼児との交流において、自分の得意な表現を活かした創意工夫をすることができる。 (発信力) グループワークやゼミ全体の討議において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。 (傾聴力) 他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。 (規則性) 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行うことができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レベルS(秀)の基準は、レポート、成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が非常に優秀であること、さらに社会人基礎力との合計が90%以上とする。 レベルA(優)の基準は、レポート、成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が優秀であること、さらに社会人基礎力との合計が80%以上、90%未満とする。	レベルB(良)は、レポート、成果発表における、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究にしっかりと取り組んでいること、さらに社会人基礎力との総合計が70%以上、80%未満とする。 レベルC(可)の基準は、レポート、成果発表子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究に自分なりに取り組んでいること、さらに社会人基礎力との総合計が60%以上、70%未満とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミメンバーの自己紹介を行う。1年間のゼミナールの目標とスケジュールを確認する。各自の目標を発表する。年間のゼミ活動全体の役割を考え、決定する。親子向けチラシ製作	演習 全体ディスカッション	ゼミの目的とスケジュールについて理解できる。自分の組みたい内容を発表し、主体的に関わる意識を持つことができる。	(予習)ゼミナールで挑戦したことを考えておく。 (復習)1年間の活動で担当希望の役割を考えておく。	90	主体性 発信力 傾聴力
2	ゼミ全体の役割分担を決定する。学泉マザリーズひろばの準備をする。役割担当を決め、当日までの準備作業内容を話し合い、決定する。	グループワーク 全体ディスカッション によるフィードバック	全体ディスカッションに積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)希望の役割を考えておく。 (復習)乳児親子を迎えるための準備の必要なことを列挙しておく。	90	発信力 傾聴力
3	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る。様々な領域の特性を活かした保育活動について学ぶ。	演習 (1・2年合同ゼミナール)	1年生との対話交流を積極的にすることができる。様々な領域の特性について理解することができる。	(予習)1・2年合同ゼミナールで行う内容を確認し、準備を整えておく。	90	主体性 実行力 規律性
4	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る。様々な領域の特性を活かした保育活動について学ぶ。	演習 (1・2年合同ゼミナール) 振り返りレポートによるフィードバック	1年生との対話交流を積極的にすることができる。様々な領域の特性について理解することができる。	(復習)振り返りレポートを完成し、提出する。	90	主体性 実行力 規律性
5	学泉マザリーズひろば準備 当日までの準備作業 挨拶や親子への言葉かけの練習をする。乳児に適する環境を考え準備する。	学泉マザリーズひろば準備 当日までの準備作業 挨拶や親子への言葉かけの練習をする。乳児に適する環境を考え準備する。	当日までの準備作業に積極的に取り組むことができる。 挨拶や言葉かけの重要性を理解し、	(予習)乳児親子への言葉かけの内容を考えておく。 (復習)会場設営の準備で不足しているものを用意する。	90	実行力 課題発見力 創造力
6	学泉マザリーズひろば準備 図書館の赤ちゃん絵本コーナーを設置する。乳児親子を迎える会場設営をする。当日のリハーサルをする。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	当日の役割を自覚し、リハーサルに取り組むことができる。	(予習)赤ちゃん絵本に適した絵本を選んでおく。 (復習)当日の進行や役割について確認し、準備を整えておく。	90	主体性 実行力 創造力
7	第1回学泉マザリーズひろばに参加し、地域0歳児親子との交流を通して、乳幼児親子への対応の仕方を学ぶ。	演習 成果発表 振り返りシートによるフィードバック	笑顔で元気に参加者の交流をすることができる。乳幼児に対し、積極的に関わろうとすることができる。保護者の言動を受け止め、対応することができる。	(予習)第1回学泉マザリーズひろばの流れ等を確認し、様々な場合を想定し、言葉かけの内容等も考えておく。 (復習)振り返りシートに記入し、自分の課題を見出す。	90	主体性 発信力 傾聴力
8	(予習)第1回学泉マザリーズひろばの流れ等を確認し、様々な場合を想定し、言葉かけの内容等も考えておく。 (復習)振り返りシートに記入し、自分の課題を見出す。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	乳幼児への語りかけ方、接し方、保護者の方への語りかけ方等について、自分振り返りと同時に、他者の意見を通して、理解することができる。	(予習)振り返りシートをもとに、発表できる準備をすす。課題をもとに、第2回学泉マザリーズひろばの内容について考えておく。	90	主体性 実行力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	第2回学泉マザリーズひろばの準備とリハーサルをする。	演習 グループワーク 全体ディスカッション によるフィードバック	自分の役割を理解し、マザリーズひろばに向けて、親子との接し方をより良いものにすることができるよう努力することができる。	(予習) 第1回学泉マザリーズひろばの準備をしておく。 (復習) リハーサルでうまくいかなかった点を練習しておく。	90	実行力 発信力
10	第2回学泉マザリーズひろばに参加し、地域0歳児親子との交流を通して、乳幼児親子への対応の仕方について、学びを深める。	演習 成果発表 振り返りシートによるフィードバック	0歳児親子との交流を通して、乳幼児親子へ積極的な語りかけをする努力ができる。手遊びや絵本よみきかせ等、マザリーズを活かした語りかけができる。	(予習) 第2回学泉マザリーズひろばの流れ等を確認し、様々な場合を想定し、言葉かけの内容等も考えておく。 (復習) 振り返りシートに記入し、自分の課題を見出す。	90	創造力 発信力 傾聴力
11	岡崎げんき館活動の見学 他のゼミナールの発表見学を通して、自分たちの発表のイメージ創りをする。他の領域の特性について学ぶ。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	他のゼミナールの発表を通して、自分たちの発表のイメージ創りができる。	(予習) 岡崎げんき館について、地域での役割や施設機能を調べておく。 (復習) 岡崎げんき館の活動内容について、方向性と概要について考える。	90	主体性 課題発見力 規律性
12	岡崎げんき館活動内容を決定する。当日の役割分担と準備と練習について話し合う。	演習 全体ディスカッション	参加する子どもたちの発達過程を考慮した活動内容を考えることができる。	(予習) 子どもたちの発達過程の適した遊びを考えておく。 (復習) 活動に必要な製作物の準備をする。	90	主体性 課題発見力 創造力
13	岡崎げんき館活動練習とリハーサル	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	自分の役割を理解し、岡崎げんき館活動に向けて、親子との接し方をより良いものにすることができるよう努力することができる。	(予習) 自分の役割担当や言葉について暗記し、練習しておく。 (復習) うまくできなかった点について、各自練習する。	90	主体性 実行力 創造力
14	岡崎げんき館活動 第1回岡崎げんき館活動を実施する。 7/16	演習 成果発表 振り返りシートによるフィードバック	0歳児親子との交流を通して、乳幼児親子へ積極的な語りかけをする努力ができる。手遊びや絵本よみきかせ等、マザリーズを活かした語りかけができる。	(予習) リハーサルでうまくいかなかった点を練習しておく。 (復習) 岡崎げんき館振り返りシートに記入する。	90	創造力 発信力 傾聴力
15	岡崎げんき館の活動を振り返り、後期に向けて感想や今後の課題について討議する。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	15回の授業全体を振り返り、自分の課題を見出すことができる。	(予習) 15回の授業での学びと今後の課題をまとめておく。 (復習) 後期に挑戦したいことをまとめておく。	90	主体性 課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331F	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：谷村和秀） Seminar：Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	谷村和秀		専門	1	必修	2前期
科目の概要							
① 1年間、10名近くのグループでゼミナールを展開していく、お互いが高められるように仲間づくりを行う。 ② 岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。 ③ 障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実施する。							
学修内容			到達目標				
① チームメンバーで協働していくことを学ぶ。 ② 乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を学ぶ。 ③ 障がいのある人（子ども）を理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。			① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる ② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる。 ③ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。					
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。					
	創造力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる					
	状況把握力	自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：特になし 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての開講科目 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許							
学修上の助言			受講生とのルール				
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。			① 無断欠席や遅刻をしない学生 ② 積極的にゼミ活動に参加できる学生 ③ 自己選択・自己責任ができる学生				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	60	①	✓			① 岡崎げんき館の活動を通して、学んだこと考えたことをまとめる ② 障がいのある人や子どもの関わりを通して、学んだこと・考えてことをまとめる。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			・ゼミメンバー間で話し合う機会が多いため、意見をもって発言することも大切ですが、相手の話を聞きことも大切である
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (創造力) 物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) ゼミメンバー及び利用者（親子・障がいのある子ども）に伝わるように表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 (規則性) 遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するルールを守ることができる	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる ② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる ③ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。 ※ 総合評価が90点以上はS（秀）、89～80点はA（優）とする	① チームメンバーの名前を覚え、学生の考えや意見が伝えることができる ② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画できる。 ③ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画できる ※ 総合評価が79～70点はB（良）、69～60点はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	①ゼミメンバーの自己紹介を行う。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する	演習	①ゼミメンバーの顔と名前が一致できる。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する	(予習) ・ゼミナールのメンバーを確認する。 ・シラバスを確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	①レクリエーションを通して、ゼミメンバーの交流を行う。	演習	①アイスブレイクの意味が理解できる。 ②ゼミメンバーの特徴が理解できる	(予習) ゼミメンバーを確認する (復習) アイスブレイクの方法を考える	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	演習 (1・2年合同ゼミ)	①後輩に対する気配りができる	(予習) 1・2年合同ゼミナールで行う内容を確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	演習 (1・2年合同ゼミ)	①行事の企画・運営方法が理解できる。	(復習) 1・2年合同ゼミナールを企画・運営するのであれば、どのような内容で行うか考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	岡崎げんき館活動の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動について、抄録集を読むこと (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で作成した指導案に基づいて、制作やリハーサルを行う。	演習	①岡崎げんき館活動で行う内容が理解できる	(予習) 前回の演習で作成した指導案に基づいて、準備物を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動で行うことを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	岡崎げんき館活動 ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	岡崎げんき館活動を振り返る（レポート作成）	演習 フィードバック	岡崎げんき館活動とおして、学べたこと・課題を発見する	（予習） 岡崎げんき館活動の振り返りを行う （復習） 親子に対しての遊びを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	スペシャルオリンピックスのアスリートとの交流でのゼミ活動の準備① ～スペシャルオリンピックスとは～	講義・演習	①スペシャルオリンピックスについて、理解できる。	（復習） スペシャルオリンピックスについて、まとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動の準備② ～障がいのある人に対しての遊びを調べる～	演習	①障がいのある人（知的障がい、発達障がい）の特性が理解できる。 ②障がいのある人に対しての遊びが理解できる。	（予習） 知的障がい・発達障がいの特性を調べる。 （復習） 障がいのある人に対しての遊びをまとめる	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動の準備③ 前回の演習で調べた遊びを挙げ、企画立案を行う。	演習	障がいのある人に対しての遊びの準備ができる。	（予習） 前回の演習で調べたものを確認する （復習） 演習で準備したものの確認を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動① ～実際、学生が立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	障がいのある人に対しての遊びの展開方法が理解できる	（予習） ①スペシャルオリンピックスの役割を確認する。 ②立案した遊びを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動① ボランティアが考えたプログラムに参加する。	演習	障がいのある人に関わる視点が理解できる。	（復習） ①スペシャルオリンピックスでの活動を振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	スペシャルオリンピックスでのゼミ活動の振り返りを行う（レポート作成）	演習 フィードバック	障がいのある人に対しての遊びのプロセスが理解できる	（予習） ①スペシャルオリンピックスでの活動を振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331G	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：津島忍） Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	津島 忍		共通	1	必修	2前期
科目の概要							
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。							
学修内容				到達目標			
① ピアノ連弾の学修では、親子で演奏する連弾曲を2人1組のグループで練習し、基礎的な奏法および表現力を学ぶ。 ② 岡崎げんき館では「楽器で遊ぼう」をテーマに楽器を使い親子で楽しむ音楽遊びの実践を行う。				① 親子で行うピアノ連弾の音楽表現を支援するための基礎的知識と技能を習得できる。 ② 岡崎げんき館での楽器遊びの実践を通して、保育現場で実践できる基本的知識や技能を習得できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題に取り組むために必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「いちばんやさしいピアノ連弾シリーズ」スタジオジブリ名曲集・ディズニー名曲集・こどものうた・ディズニープリンセス 等 ヤマハミュージックパブリッシング刊 必要に応じて資料を配布する。 参考文献：「わくわく音遊びでかんたん発表会」細田淳子 著 鈴木出版 1,800円 その他に必要なに応じて資料を配布することがある。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：幼児表現（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、子どもの音楽表現、保育内容（表現） 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格							
学修上の助言				受講生とのルール			
連弾の練習の前に個人での予習（練習）が必要である。また連弾の練習においても、時間外での予習・復習（練習）が必ず必要である。積極的な意見の交換が必要である。				2人一組での練習が欠かせないので、最低限守るべきルール・マナー・約束を理解し、相手に迷惑をかけない。げんき館での活動は集団でのチームワークを意識する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
		レポート	0	①					
				②					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓				・15週目の授業において発表を行い、連弾における表現を支えるに相応しい表現力、技術力を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（70点） ・岡崎げんき館での活動内容の準備及び本番での活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（20点）
				②	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				（主体性）（実行力）（課題発見力） ・苦手な部分の克服や技術の習得のために自ら練習をすることができる。 （創造力）（発信力） ・発表・演奏において、学んだことを更に工夫し発表することができる。 （傾聴力） ・相手と、良くコミュニケーションを取り、迷惑をかけない。グループ活動へ積極的に関わる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・ピアノ連弾においてA（優）は曲を情感豊かに表現し、演奏技術の上達、獲得が顕著にみられる演奏ができる。 S（秀）は演奏表現、技術に特に優れ、常に安定した表情豊かな演奏ができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が特に顕著である。	・ピアノ連弾においてB（良）は曲を間違えることなく最後まで演奏し、演奏技術の上達、獲得がみられる。 C（可）は二人で合わせて最後まで演奏することができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方(連弾の 学修方法について) 岡崎げんき館での「楽 器で遊ぼう」の活動に 向けての内容・企画の 検討と指導案の作成 連弾の基本的な知識の 学習	講義・演習(ペアでの 練習およびペアでの指 導、全員参加の企画会 議)	連弾曲を個人練習し、 相手と合わせて最後ま で演奏し、指導を理解 し実行できる。 企画会議に積極的に参 加し、協力して計画を 立案検討できる。	(予習) 連弾曲の選曲 (復習) 岡崎げんき館 の企画内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	岡崎げんき館での「楽 器で遊ぼう」の活動に 向けての内容・企画の 検討と指導案に基づいた 模擬実習の実施と改善	演習(個人練習および 個人指導) フィード バックはレッスン内で 行う。	企画案に基づき、模擬 実習を実施し、改善案 を提案できる。連弾曲 を個人練習し、相手と 合わせて最後まで演奏 し、指導を理解し実行 できる。	(予習) 岡崎げんき館 の企画内容の確認と改 善の検討(復習) 岡崎 げんき館の企画内容の 整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	岡崎げんき館での「楽 器で遊ぼう」の活動	演習(全員参加の岡崎 げんき館での実践発 表)	準備した内容を実施で きる。	(予習) 岡崎げんき館 の企画内容の確認 (復習) 岡崎げんき館 の企画内容の反省点の 洗い出し	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	岡崎げんき館での「楽 器で遊ぼう」の活動の 振り返り 連弾の基本的な知識の 学習 連弾曲のペアでの練習 と指導	演習(岡崎げんき館で の実践の反省会、個人 練習および個人指導) フィードバックはレッ スン内で行う。	反省を行い、次回への 課題を発見できる。 連弾曲を個人練習し最 後まで演奏し、指導を 理解し実行できる。	(予習) 岡崎げんき館 の企画内容の問題点の 洗い出し (復習) 個人での練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	連弾の基本的な知識の 学習 連弾曲の個人練習と指 導	演習(全員参加の企画 会議および模擬実習の 実施と改善方法の検 討)	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	(予習) 連弾曲の個人 練習 (復習) ペアでの練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	連弾曲のペアでの練習 と指導	演習(個人練習および 個人指導、ペアでの練 習およびペアでの指 導) フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	(予習) 連弾曲の個人 およびペアでの練習 (復習) ペアでの練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	連弾曲の個人練習と指 導	演習(個人練習および 個人指導) フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人で練習 し、最後まで演奏して 指導を理解し実行でき る。	(予習) 連弾曲の個人 練習 (復習) 問題点の克服 のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	連弾曲のペアでの練習 と指導	演習(個人練習および 個人指導、ペアでの練 習およびペアでの指 導) フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ゼミ内での中間発表 到達度の確認	演習（お互いの演奏を 聞き合い、現状把握と 今度の練習日程の修 正） フィードバックはレッ スン内で行う。	お互いの演奏を聞き合 い、現状把握と今度の 練習日程の修正などを 検討し、練習に反映で きる。	（予習）連弾曲の中間 発表に向けての個人お よびペアでの練習 （復習）中間発表での 講評を受けての問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	連弾曲のペアでの練習 と指導	演習（個人練習および 個人指導、ペアでの練 習およびペアでの指 導） フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	（予習）連弾曲の個人 およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	連弾曲のペアでの練習 と指導	演習（個人練習および 個人指導、ペアでの練 習およびペアでの指 導） フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	（予習）連弾曲の個人 およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	連弾曲のペアでの練習 と指導	演習（個人練習および 個人指導、ペアでの練 習およびペアでの指 導） フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	（予習）連弾曲の個人 およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	連弾曲のペアでの練習 と指導	演習（個人練習および 個人指導、ペアでの練 習およびペアでの指 導） フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	（予習）連弾曲の個人 およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	連弾曲のペアでの練習 と指導	演習（個人練習および 個人指導、ペアでの練 習およびペアでの指 導） フィードバックはレッ スン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わ せて最後まで演奏し、 指導を理解し実行でき る。	（予習）連弾曲の個人 およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習 と指導を受けた問題点 の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	連弾曲の発表と反省	演習（発表会形式によ る演奏と反省会） フィードバックは講評 で行う。	演奏曲を準備し発表す ることができる。 また反省会において個 人およびペアの反省点 を述べることができ る。	（予習）連弾曲の発表 に向けての個人および ペアでの練習 （復習）発表での講評 を受けての問題点の克 服のための練習	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331H	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ：服部壮一郎) eminar：Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	服部壮一郎 (クラス分け)		共通	1	必修	2前期
科目の概要							
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、保育・幼児教育の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。							
学修内容				到達目標			
① 読み聞かせの実践などを通じて自分の研究課題を考える。 ② 岡崎げんき館において「おはなし会」を開催する。 ③ 研究成果を報告・発表できるように素材を集める。				① 自分の研究課題を決定することができる。 ② 「おはなし会」を通じて物語の世界を伝えることができる。 ③ 研究成果の報告・発表のために素材を集めることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、テキストを使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	自分ひとりではできないときに人の力をかりるための声掛けができる。					
	実行力	作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし 参考文献：代田知子『読み聞かせわくわくハンドブック～家庭から学校まで～』一声社、2001年。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての科目と関連する。 資格との関連：保育士、幼稚園教諭二種							
学修上の助言				受講生とのルール			
積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。				学生相互の協力関係が大切である。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） 課題に取り組むにあたって、必要な知識を文献を使って自己学修をすることができたか。 （実行力） 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 （想像力） 物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 （発信力） 予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 （傾聴力） 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性） 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
与えられた課題に積極的に取り組み、自分の研究課題を主体的に決定することができる。 おはなし会の開催に向けて協力的に活動し、当日参加した親子に物語の世界を伝えることができる。 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	与えられた課題に取り組むことができる。 おはなし会の準備に参加し、おはなし会を開催することができる。 総合評価79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの目的と内容について確認する。	演習 目標を評価し、フィードバックする。	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定する。	(予習) シラバスを参照しておく。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	ゼミ活動の予定を企画・立案する。	演習 グループワーク 企画・立案内容を評価し、フィードバックする。	自分の考えを伝え、他の学生と協力してゼミを運営できる。	(予習) 教材を考えておく。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	読み聞かせの教育的意義 (1) 絵本の世界に触れ、発達との関連を学ぶ。	演習 教材の内容の理解を確認し、フィードバックする。	読み聞かせの教育的意義を理解し、読み継がれる絵本の特徴を知る。	(予習) 教材の内容を理解しておく。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	読み聞かせの教育的意義 (2) 児童文学の歴史を学ぶ。	演習 教材の内容の理解を確認し、フィードバックする。	児童文学の歴史を知る。	(復習) 配布資料を読み返し、理解を深める。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
5	読み聞かせの方法 (1) 絵本の上手な読み聞かせ方について学ぶ。	演習 グループワーク 練習を評価し合い、フィードバックする。	上手な読み聞かせの方法を理解する。	(復習) 学んだ方法を練習する。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
6	読み聞かせの方法 (2) 読み聞かせの会を開催する方法について学ぶ。	演習 グループワーク 練習を評価し合い、フィードバックする。	読み聞かせの会を成功させるためのポイントを理解する。	(復習) 学んだ内容を整理する。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
7	読み聞かせの方法 (3) 子どもとのふれあい方や注意事項について学ぶ。	演習 グループワーク 練習を評価し合い、フィードバックする。	手遊びや関連する出し物を実践することができる。	(復習) 手遊びや出し物を練習する。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
8	実践演習 (1) ゼミ内で読み聞かせの実践演習を行う。	実践演習 読み聞かせを実践し、評価し合い、フィードバックする。	ゼミ活動に積極的に参加し、自分の意見を伝える。	(予習) 読み聞かせの練習を行う。 (復習) 課題を克服する方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	実践練習 (2) ゼミ内で読み聞かせの 実践演習を行う。	実践演習 読み聞かせを実践し、 評価し合い、フィード バックする。	ゼミ活動に積極的に参 加し、自分の意見を伝 える。	(予習) 読み聞かせの 練習を行う。 (復習) 課題を克服す る方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
10	実践練習 (3) ゼミ内で読み聞かせの 実践演習を行う。	実践演習 読み聞かせを実践し、 評価し合い、フィード バックする。	ゼミ活動に積極的に参 加し、自分の意見を伝 える。	(予習) 読み聞かせの 練習を行う。 (復習) 課題を克服す る方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
11	岡崎げんき館での活動 計画を企画・立案す る。	演習 グループワーク 企画・立案内容を評価 し、フィードバックす る。	活動計画の企画・立案 に積極的に参加する。	(予習・復習) 岡崎げ んき館での活動の準備 をする。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	岡崎げんき館での活動 計画をもとに役割分担 を決める。	演習 グループワーク 準備状況を評価し、 フィードバックする。	主体的に自分の役割を 決めることができる。	(予習・復習) 岡崎げ んき館での活動の準備 をする。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	岡崎げんき館での活動 計画をもとにリハーサ ルをする。	演習 グループワーク 準備状況を評価し、 フィードバックする。	活動計画をもとに自分 の役割を理解できる。	(予習・復習) 岡崎げ んき館での活動の準備 をする。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	岡崎げんき館での活動 計画をもとに実践す る。	実践演習 実践を評価し、フィー ドバックする。	他の学生と協力するこ とができる。	岡崎げんき館での活動 の準備をする。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
15	岡崎げんき館での実践 を振り返り、課題をま とめる。	演習 グループワーク 課題を評価し、フィー ドバックする。	自分の課題をあげるこ とができる。	(予習) 岡崎げんき館 での実践を振り返って おく。	90	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331I	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：本多峰和） Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	本多 峰和		共通	1	必修	2前期

科目の概要

「音楽表現を考えよう」をゼミタイトルとする。音楽表現は様々である。ピアノやバイオリンなどの楽器演奏。声楽、合唱、ゴスペル、そしてボディパーカッション、バレエ、ミュージカル、ダンスなど、さらに幼児においては手あそび、体あそびなど動きを伴う童歌や唱歌、童謡の歌唱、器楽演奏など、実に多様である。どのように音楽を表現するか、表現の仕方でも変わってくる。このように多様な音楽表現における視野を広く持つことを目的とし、各自が主体的に子どもたちにおける音楽表現を研究する。また、岡崎げんき館では親子で楽しく歌ったり踊ったりする内容を考え、現場で活かせる実践活動を目指す。

学修内容	到達目標
① 「唱歌」「童謡」「わらべうた」の違い、舞台芸術である「ミュージカル」「バレエ」「オペラ」の違いを知る。 ② 「手あそび」「体あそび」の表現研究。 ③ 音楽表現の視野を広げ、保育に活かせる音楽表現を考える。 ④ 岡崎げんき館に向けて指導案を考える。 ⑤ 岡崎げんき館の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わる。	① 「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「バレエ」「オペラ」の違いについて説明できる。 ② 「手あそび」「体あそび」の表現を考えることができる。 ③ 音楽表現の視野を広げ、保育に活かせる音楽表現を自分なりに考えることができる。 ④ 岡崎げんき館に向けて指導案を考えることができる。 ⑤ 岡崎げんき館の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題を行うために必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

参考文献：「子どものあそびとうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「童謡・唱歌の世界」金田一春彦著、「唱歌・童謡100の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・岩井正浩著、「オペラでわかるヨーロッパ史」加藤浩子著、「オペラへの招待」ジョン・ルイス・ディガニエターニ著、「オペラ史 上」D・J・グラウト著、「オペラのすべて」アレクサンドロ・タヴェルナ著、「知識ゼロからの ミュージカル入門」塩田明弘著、「ミュージカルおもしろ雑学事典」石原隆司著、「ブロードウェイ・ミュージカル」井上一馬著、「ミュージカル史」小山内伸著、「バレエの世界へようこそ：あこがれのバレエ・ガイド」リサ・マイルズ著、「ビジュアル版バレエ・ヒストリー バレエ誕生からバレエ・リュスまで」芳賀直子著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究協会編、「世界のあそび歌35/40」後藤田純生著、「なぜ、いま学校で「表現教育」なのか？」芸団協出版部、「幼児期」岡本夏木著、

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現（音楽）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子どもの音楽表現
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	20	①				岡崎げんき館での活動についての振り返りおよび反省レポートを提出し、評価する。（1000～1200字） 学外授業の振り返りレポートを評価する。（1000字） 後日提出したものは80%の評価とする。
				②				
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓			「岡崎げんき館へ向けての活動」：準備段階での積極的な意見や発言、協調性。そして「幼児学ゼミナール中間報告会」「幼児学ゼミナール報告会」「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」に対する意欲的な取り組みを評価する。 各自「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」について調べたことを発表する。後日発表したものは80%の評価とする。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) 課題に取り組むにあたり、必要な知識を文献を用いて自己学習することができたか。 (実行力) 一度決めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (創造力) 物事を考える時に、固定観念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義で身に付けた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
			総合評価割合			100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して深く理解をしている。 A（優）の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して理解をしている。	B（良）の基準 協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。 C（可）の基準 協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミの概要説明	講義 グループワーク	ゼミ内容を理解し、「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」から興味のあるものを選択する。ゼミの内容を理解できる。	(復習) 「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」のおさらい。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」をまとめる。	調べ学習 フィードバック（調べ学習の内容を評価する）	文献を使い積極的に課題に取り組むことができる。	(復習) 調べたことを見直し、さらに調べるべきことを追求する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 規律性
3	チームで働く力を高める 1・2年生合同ゼミ	演習 グループワーク	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(復習) レポートを作成する	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
4	チームで働く力を高める 1・2年生合同ゼミ	演習 グループワーク	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(復習) レポートを作成する	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
5	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を各自まとめる。	調べ学習 ディスカッション フィードバック（調べ学習の内容を評価する）	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を分かりやすく発表できるようまとめる。積極的に課題に取り組む、分かりやすくまとめることができる。	(復習) 調べたことを見直し、さらに調べるべきことを追求する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 規律性
6	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」をまとめたものを発表する。	調べ学習 ディスカッション 発表 フィードバック（調べ学習、発表の内容を評価する）	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を各自発表する。自信を持って発表することができる。	(復習) 「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」のレジュメを見直す。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
7	「手あそび」の音楽表現について考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	「手あそび」の音楽表現について考え年齢にあった「手あそび」の表現を考えることができる。	(復習) 授業で扱わなかった「手あそび」について保育との関連性を考える。	45	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性
8	「体あそび」の音楽表現について考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	「体あそび」の音楽表現について考え年齢にあった「体あそび」の表現を考えることができる。	(復習) 授業で扱わなかった「体あそび」について保育との関連性を考える。	45	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ミュージカルから、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック（討議内容を評価する）	ミュージカルを参考にし、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	（復習） 興味を持ったミュージカルの鑑賞。	45	主体性 働きかけ力 創造力 柔軟性 規律性
10	バレエ、ダンスから、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック（討議内容を評価する）	バレエ、ダンスを参考にし、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	（復習） 興味を持ったバレエやダンスの鑑賞。 （予習） 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡を考えておく。	45	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
11	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	自身のアイデアや意見交換をしながら活動内容を考える。	（復習） 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡のおさらい。 （予習） 絵本の下調べをしておく。	45	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
12	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	「岡崎げんき館」で使用する絵本を吟味する。声に出して読んだり聞くことで「岡崎げんき館」で行う読み聞かせのイメージができる。	（予習） 手作り楽器を調べておく。	45	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
13	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業し、質のよい手作り楽器を目指す。	（復習） 手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	45	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
14	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業し、質のよい音色を目指す。	（復習） 手作り楽器の補修など安全面にもう一度配慮する。	45	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
15	「岡崎げんき館」での活動 および振り返り	演習 ディスカッション フィードバック（演習、討議内容を評価する）	「岡崎げんき館」での活動をふり振り返り、文書にまとめる。「岡崎げんき館」での活動を各自が振り返ることで今後の活動を高めることができる。	（復習） 岡崎げんき館での活動の反省と振り返りをする。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331J	指導法研究Ⅰ（幼児学ゼミナールⅠ：山本辰典） Seminar:Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	山本 辰典			1	必修	2 前期
科目の概要							
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、色々な課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実戦につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。							
学修内容			到達目標				
① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができるようにする。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。			① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができる。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	提出物の期限を守ることができる。					
考え抜く力	課題発見力	指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。					
チームで働く力	発信力	指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。					
	傾聴力	計画者の案を理解し、グループ活動することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：幼児表現（造形Ⅰ）、幼児表現（造形Ⅱ）、保育内容（表現） 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許							
学修上の助言			受講生とのルール				
・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。			・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする。 ・全ての提出物を出さないこと及第しない。 ・提出期限に遅れた場合は減点する。 ・授業態度が悪い場合は減点することがある。 ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
	平常評価	小テスト	0	①						
				②						
		レポート	0	①						
				②						
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓					・ものづくり計画をしっかりと立案できたか。 ・段取りがしっかりとできたか。 ・制作を完遂できたか。 ・指導計画を立案し、子どもへの指導へ敷衍しながら、取り組むことができたか。 ・教材研究にしっかりと取り組めたか。
				②	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				主体性：自ら進んで学修をすることができる。 実行力：提出物の期限を守ることができる。 課題発見力：指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。 創造力：指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。 発信力：指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。 傾聴力：計画者の案を理解し、グループ活動することができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。		
			②	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。 子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 S（秀）になるためには、全課題の合計が90点以上であること。	子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。 造形素材のレポートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 Cについては、15週予定表参照のこと。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション	講義	授業内容を理解することができる	(復習) 授業で学修したことを復習する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
2	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
3	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
4	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
5	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動 フィードバック (活動の評価)	計画した内容に基づいて子どもの指導ができる 親と関わることができる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 傾聴力
6	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
7	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
8	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
10	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
11	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
12	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
13	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
14	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
15	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332A	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：井手裕子) Seminar: Study of Methodology for Infantile EducationⅡ	井手 裕子		共通	1	必修	2後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。

学修内容	到達目標
① 研究課題に対し、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ② 各自の研究課題に対して、必要な素材を集める。 ③ げんき館活動による保育・教育実践の計画及び実施。 ④ 自分の性格、心の一部分を理解するために、心理検査を体験する。 ⑤ 幼児に対する人間関係のスキルアップについて、自ら体験しながら学ぶ。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ② 研究成果を報告、発表する為の素材を集めることができる。 ③ 岡崎げんき館で子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる。 ④ 自分自身を理解することで乳幼児の理解と保護者への理解が向上し、積極的に関係できるようになる。 ⑤ 幼稚園教諭として、幼児への教育的配慮が行える。 ⑥ 以上から、幼児の発達に即した遊びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法—幼児の発達に応じた保育の展開すること、具体的には情報機器、教材使用—を身につけていること。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	期日までに作品を仕上げるための見通し（手順や方法）を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	あらゆる事象に対して開かれた視点を持ち、課題として見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内の発表等において、聞き手にわかりやすく伝える工夫をすることができる。また、そのための準備（要点の整理、声の大きさ、スピード等）を怠らない態度がある。
	傾聴力	グループワーク等で、人の意見をよく聴き、話し手が何を言いたいのかを察する姿勢を持ち、それに対する自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし ※プリントは適宜配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児学ゼミナールⅡ
資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
乳幼児観察を通して、子どもの発達の経緯を具体的に理解するとともに、母子関係の状態を把握できるようにしていくことが重要である。	調べ学習、発表、グループ討議、相互に教え合う等を行うアクティブ・ラーニング形式の授業に、意欲的に参加すること。集団のなかの自分を意識しながら活動してほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥			
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		自分の研究したいテーマ、研究の方法についてまとめることができる。	
				②					
				③					
				④					
				⑤					
		レポート	40	①	✓	⑥	✓		
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
				⑤	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥	✓		
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
				⑤					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性）調べ学習の自発性（実行力）実験、観察、地域活動等の課題にも粘り強く取り組むことができる（課題発見力）地域活動等の際、対象のニーズを把握し、問題解決できる。（創造力）事例や教科書の解説通りでなく、それを土台とした自らの発想を通して問題解決方法を考案したり、支援計画を考えたりすることができる。（発信力）グループ討議、プレゼン準備の結果を、他者にわかりやすく伝えることができる。（傾聴力）発信者の意見を自分の立場に置き換え、意図をくみ取りながら聴くことができる。（状況把握力）効果的な観察を通して対象や自分の置かれた状況を正確に把握することができる。（規律性）学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、ほぼ完璧に力を発揮した場合。 A：上記評価方法において、満遍なく十分な力を発揮した場合。	B：成果発表、社会人基礎力（学修態度）、その他の評価方法において、十分ではないが力を発揮し、もしくは2評価において十分な力を発揮した場合。 C：2つの評価において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価において十分な力を発揮した場合。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション げんき館活動準備①	講義 グループ討議	1年間のゼミ活動の目標や課題が理解でき、後期の目標が説明できる。 げんき館活動の準備を具体的に進めることができる。	予習：げんき館の活動を考えてくる 復習：オリエンテーションのプリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	げんき館活動準備②	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 発表	・げんき館活動の、具体的な計画を作成することができる。 ・タイムスケジュールを組むための話し合いを行い、親子観察の準備を整えることができる。	予習：親子観察によって見たい事象を考える。 復習：手遊び歌を調べ、身につける。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	げんき館活動を行う (2回目) ※他ゼミと予習：親子観察によって見たい事象を考える。	地域活動実践	・げんき館に実際に行き、未満児や保護者との遊びを通じた交流を行う。必要な援助、指導を行うことができる。 ・子ども観察を行うことができる。	予習：手遊び歌、観察法について確認する。 復習：活動を振り返る (げんき館活動振り返りシート)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	げんき館まとめ	グループ討議 げんき館についてのレポートを書く	親子観察の結果を話し合い、反省、まとめをすることができる。	復習：反省、今後の課題を記した記録プリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	中間報告の準備	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議	ゼミ活動について、中間報告の準備に取り組むことができる。	復習：準備の具体的なプリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	中間報告の準備 研究テーマの論文を演習する	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 演習	自分の調べたテーマの基礎について理解できる。 協力しながら、プレゼンテーションの準備を行うことができる。	予習：研究テーマを考えてくる。 復習：自分の研究に関する資料を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	中間報告の準備	前回の配布プリントのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 演習	自分の調べたテーマの基礎について理解できる。 協力しながら、プレゼンテーションの準備を行うことができる。	復習：プリントを見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	調べたテーマについてのまとめを行い、研究テーマの論文作成を開始する。	前回のフィードバックおよび解説 講義 グループ討議 演習	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめることができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：研究のまとめた要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	研究テーマについての活動	発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：研究のまとめた要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	研究テーマについての活動	前回のフィードバック および解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：研究のまとめた要点を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	研究テーマについての活動	前回のフィードバック および解説 発表 質疑応答	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：他者の発表を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゼミ抄録集の原稿作成	前回のフィードバック および解説 演習	研究テーマを考えるための論文の要点をまとめて発表し、その内容について討論することができる。 活動内容を文章化できる。	復習：他者の発表を再度見直す	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ゼミ抄録集の原稿作成	前回のフィードバック および解説 演習	活動内容を文章化できる。	予習：自分の研究テーマに役立つ論文をさがす。 復習：他者の発表を再度見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ゼミ報告会の現行作成 リハーサルの実施	前回のフィードバック および解説 演習	活動内容を文章化できる。	復習：まとめた要点を再度見直す	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ゼミナール報告会本番 発表	ゼミナール報告会 発表	発表に関し、傾聴力、実行力を発揮し、協力しあって1つの活動を行うことができる。 活動内容を文章化できる。	復習：他者の発表や自分の発表を振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332B	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:伊藤照美) eminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	伊藤照美		共通	1	必修	2後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。
また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。

学修内容	到達目標
① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組む、研究・実践する。 ② 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③ 「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ② 研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。 ③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：各ゼミナールにて提示される
参考文献：幼保連携型認定こども園教育、幼稚園教育要領

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：すべての科目と関連する。
資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・各ゼミナールの担当教員が評価する。 ・「研究報告会への取り組み」や「幼児学ゼミナール抄録集」、「げんき館での活動」が評価される。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 （実行力） 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 （想像力） 物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 （発信力） 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 （傾聴力） 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規則性） ・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 総合評価79～70B（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	岡崎げんき館活動① 親子とのふれあい 実践	演習	こどもとの関わりで子どもへの声かけや援助などが積極的に行うことができる	企画した内容を確認し実践できるようにしておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	岡崎げんき館活動の振り返り ニュースポーツを子ども向けにアレンジする (ラダーゲッター、縄跳びなど)	演習 全員で考えてスポーツをする 理解確認 フィードバック	アレンジしたニュースポーツの内容・ルールが理解・習得できる	企画した内容を確認し実践できるようにしておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	運動会の企画・立案① (保育園・幼稚園で行われる運動会を想定して考える) 実践	演習 グループで考えたことを教える グループディスカッション 発表 理解確認 フィードバック	発育年齢に応じて、運動会の種目を考えることができる 積極的に取り組み、協力することができる	持久力をつけるために適度に運動しておく 準備運動をしておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	運動会の企画・立案② (保育園・幼稚園で行われる運動会を想定して考える) 実践	演習 グループで考えたことを教える グループディスカッション 発表 理解確認 フィードバック	発育年齢に応じて、運動会の種目を考えることができる 積極的に取り組み、協力することができる	発育年齢に応じて、運動会の種目を考えることができる 積極的に取り組み、協力することができる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	岡崎げんき館参加の企画・立案②	演習 理解確認 フィードバック	岡崎げんき館の企画・立案と準備を積極的に行うことができる	持久力をつけるために適度に運動しておく 岡崎げんき館活動の器具などの事前準備をする	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	岡崎げんき館活動② 親子とのふれあい 実践	演習 理解確認 フィードバック	こどもとの関わりで子どもへの声かけや援助などが積極的に行うことができる	企画した内容を確認し実践できるようにしておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	岡崎げんき館活動の振り返り 幼児学ゼミナール研究報告抄録集作成開始	演習 理解確認 フィードバック	自分で意見を出し協力できる グループ内での役割を理解できる	持久力をつけるために適度に運動しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	幼児学ゼミナール研究報告抄録集作成 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 過去のDVDを参考にする 理解確認 フィードバック	抄録集作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる	持久力をつけるために適度に運動しておく 事前に準備をしておく 個人研究を考えておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	幼児学ゼミナール研究 報告抄録集作成 ゼミナール報告会に向 けて企画・立案	演習 全員で考える 理解確認 フィードバック	抄録集作成、ゼミナ ール報告会への企画立案 と準備を積極的にでき る 企画内容を理解できる	持久力をつけるため 適度に運動しておく 事前に準備をしておく 考えた個人研究をまと めておく	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	1年生への研究報告会 幼児学ゼミナール研究 報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向 けて企画・立案	演習 グループで分かれて考 える グループディスカッ ション 発表 理解確認 フィードバック	抄録集作成、ゼミナ ール報告会への企画立案 と準備を積極的にでき る 企画内容を理解できる	持久力をつけるため 適度に運動しておく 準備運動をしておく 柔軟体操をしておく 事前に準備をしておく 事前に曲や振付を考え てくる 個人研究をまとめてお く	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	幼児学ゼミナール研究 報告抄録集作成 ゼミナール報告会の準 備活動	演習 グループで分かれて考 える グループディスカッ ション 発表 理解確認 フィードバック	抄録集作成、ゼミナ ール報告会への企画立案 と準備を積極的にでき る 企画内容を理解できる 自分の役割を理解でき る	持久力をつけるため 適度に運動しておく 準備運動をしておく 柔軟体操をしておく 事前に準備をしておく 事前に曲や振付を考え てくる 個人研究をまとめてお く	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	幼児学ゼミナール研究 報告抄録集作成 ゼミナール報告会の準 備活動	演習 グループで分かれて考 える グループディスカッ ション 発表 理解確認 フィードバック	抄録集作成、ゼミナ ール報告会への企画立案 と準備を積極的にでき る 企画内容を理解できる 自分の役割を理解でき る	持久力をつけるため 適度に運動しておく 準備運動をしておく 柔軟体操をしておく 創作した動きなどを復 習する 研究報告抄録集完成の 確認をする	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	幼児学ゼミナール研究 報告抄録集作成 ゼミナール報告会の準 備活動	演習 グループで分かれて考 える グループディスカッ ション 発表 グループディスカッ ション 全員で研究報告抄録集完成 の確認をする 理解確認 フィードバック	抄録集作成、ゼミナ ール報告会への企画立案 と準備を積極的にでき る 企画内容を理解できる 自分の役割を理解でき る	持久力をつけるため 適度に運動しておく 準備運動をしておく 柔軟体操をしておく 創作した動きなどを復 習する 研究報告抄録集完成の 確認をする	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告 会に向けてリハーサル	演習 全員 グループで分かれて考 える プレゼンテーション 理解確認 フィードバック	これまでの創作が全て 完成され、発表できる	持久力をつけるため 適度に運動しておく 準備運動をしておく 柔軟体操をしておく 完成した動きなどを細 かく確認する	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ゼミナール報告会に向 けてリハーサル まとめ	演習 全員 プレゼンテーション 理解確認 フィードバック	これまでの創作が全て 完成され、発表できる	適度に運動しておく 報告前の全体確認をす る	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332C	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:伊藤智式) Seminar: Study of Methodology for Infantile EducationⅡ	伊藤 智式		共通	1	必修	2後期

科目の概要

ゼミナールⅠの授業を発展的に展開していく。
このゼミのテーマは「子どもの遊びを考える」である。実際に子どもの遊びを体験し遊びの楽しさを味わい、新しい遊びを創造すると共に、子どもたちに楽しさを伝える術を学ぶ。また、子どもの遊びや子どもに関する行事についての調査や研究を行う。子どもの遊びを究め、保育者としていつも子どもたちに楽しさを伝えられるピエロのような存在になってほしい。

学修内容	到達目標
① 子どもの遊び等についての課題を実践する。 ② 個人の研究テーマを設定し、取り組む ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表の準備と実践をする。 ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと実践的に関わる。	① 実践課題を積極的に取り組み、体得することができる。 ② 個人の研究を主体的に取り組み、成果を出すことができる。 ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、他者と協力し積極的に取り組むことができる。 ④ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと積極的に関わるることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がでせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：特になし。 資料を随時配布する。
参考文献：特になし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：すべての科目と関連する。
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
- 積極的に参加する。 - 勇気を出して前に踏み出す。	教員学生間でのTP0に応じた礼節を重んじる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・実践課題の達成度(40) ・げんき館での活動成果(10) ・幼児学ゼミナール抄録集の取り組み（10） ・ゼミ研究報告会までの総合的な取り組み（30）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) ・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。 (働きかけ力) ・グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。 (実行力) ・実践課題を習得できるように粘り強く取り組むことができる。 (課題発見力) ・子ども遊びや安全管理についての問題点を認識できる。 (創造力) ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。 (発信力) ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。 (傾聴力) ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。 (状況把握力) ・周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・ゼミの課題に対して積極的に取り組み、ゼミで学んだ研究成果や表現技能、指導法などを応用的に実践することができる。(A) ・学習修得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。(S)	・ゼミの課題に対して取り組むことができる。(C) ・個人やグループにおいて、研究成果や表現技能などを具体的に実践することができる。(B)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	後期ゼミナールⅡ目的と内容について確認する。個人の研究テーマを確認する。	演習	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定できる。	これまでの個人研究を休み期間中にまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
2	幼児学ゼミナール報告会の企画を考える。	演習、グループ討議、	幼児学ゼミナール報告会の企画を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
3	子どもの遊び、石蹴り、お手玉などを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク、 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊び、石蹴り、お手玉などの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	子どもの遊び、ゴムとび、バンブーダンス、ボールあそびを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊び、ゴムとび、バンブーダンス、ボールあそびの遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの遊び、竹馬、缶ぽっくりなどを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊び、竹馬、缶ぽっくりなど遊び方を習得できる。指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもに関する行事、おこしものづくりを体験し、幼児への指導法を学ぶ。	演習、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	おこしものづくりと幼児への指導法を理解し説明できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	個人研究中間発表	演習、プレゼンテーション 発表についての相互評価にてフィードバック	子どもの遊びについての個人研究の中間発表ができる。	個人研究の中間発表を準備してくる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	岡崎げんき館での活動を企画・立案する。	演習、グループ討議、 立案用紙の評価	積極的に参加し、岡崎げんき館での活動を企画・立案をできる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	岡崎げんき館での活動計画を再考し、リハーサルをする。	演習、グループ討議、実技・グループワーク 実技についての相互評価にてフィードバック	岡崎げんき館での活動計画を理解し説明できる。自分の役割を認識し説明できる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	岡崎げんき館での実践予定をもとに役割分担に対して責任を持ち実践する。	実技・グループワーク、 実践評価にてフィードバック	自分の役割を理解し実践できる。	自分の役割を理解し実践できるように予習しておく。反省点を振り返る。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習 抄録についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール抄録集の担当箇所を作成できる。	個人研究をまとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習 抄録についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール抄録集を作成できる。	幼児学ゼミナール抄録集を校正する。	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習、グループ討議、実技・グループワーク、 実技についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール報告会の準備ができる。	幼児学ゼミナール報告会のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習、グループ討議、実技・グループワーク、 実技についての相互評価にてフィードバック	幼児学ゼミナール報告会の準備ができる。	幼児学ゼミナール報告会のための資料・用具を準備する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会で発表する。	演習、プレゼンテーション、 発表についての相互評価にてフィードバック	自分の役割を理解し実践できる。	自分の役割を理解し実践できるように予習しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332D	指導法研究Ⅱ（幼児学ゼミナールⅡ：太田美鈴）	太田美鈴		共通	1	必修	2後期
科目の概要							
テーマ「なんでも保育になるよ」をテーマに小グループによるゼミナールを行なう。いろいろな教材をもとに保育内容に展開できるように、自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。 また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学修を統合し、保育の実践につなげていく。単位としてはⅠとⅡに分かれているが、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの研究活動である。幼児教育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を習得する。							
学修内容			到達目標				
① 各自が主体的に取り組み、研究・実践する ② 報告・発表ができるように素材収集を実施する ③ 子どもたちとの実践的な関わりを理解する ④ 実施内容の指導案の作成と評価反省について理解する ⑤ ボランティア活動を通し、保育者の活躍の場を体験する			① 各自の研究課題に対し主体的に取り組むことができる ② 研究成果を報告、発表のために素材を集めることができる ③ 実践に積極的に取り組み、その体験を保育実践に活用することができる ④ 保育内容の指導案を作成することで、保育技能を高めることができる ⑤ 保育者の活躍現場での保育を体験し、視野を広げることができる				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題に必要な知識を教科書・文献を使って、自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	目標の到達に向けて、人の力を借りるための声掛けができる。					
	実行力	期限内に作品を仕上げるための手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づき客観的に情報を整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力	グループで時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考え、期限内に完成できるように進めることができる。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントを整理し、発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を聴き、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性	グループ討議では、自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができるところを考え、目標に向かって協力できる。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：各ゼミナールにて提示される 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての科目と関連する。 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士							
学修上の助言			受講生とのルール				
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。			・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓					
		②	✓					
		③	✓					
		④	✓					
		⑤						
学修行動								
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準				到達レベルB(良)及びC(可)の基準			
各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて、研究成果を具体化し、分かりやすく発表することができる。また、学修した知識や技能を保育実践の現場で積極的に活用することができる。				各課題に対して積極的に取り組み、個人、グループにおいて、研究成果を発表することができる。また、学修した知識や技能を保育実践の場で活用することができる。			
総合評価	90点以上 S（秀）	89～80点 A（優）		総合評価	79～70点 B（良）	69～60点 C（可）	

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナール活動の目的 と内容について確認 し、後期の実践活動に 対して計画作成	演習 ゼミ全体で後期の実践 活動の話し合いを進め る。 本日の活動を振り返り 発表する。発表の解説 をしフィードバックす る。	ゼミナール活動の目的 と内容について確認 し、後期の実践活動の 計画立案に主体的に参 加することができる。	(予習) 後期に向けて の企画に積極的に参加 できるように自分の考 えをまとめておく。 (復習) 今後の計画に 沿って見通しを持つ。	90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
2	岡崎げんき館活動の企 画計画作成をする。	演習 ゼミ全体で後期の実践 活動に対しグループ討 議 本日の振り返りをレ ポートにまとめ、 フィードバックする。	ゼミナール活動の目的 と内容について確認 し、後期の実践活動に 対して計画立案に積極 的に参加することがで きる。	(予習) 自分の考えを まとめ意欲的に参加で きるようにする。 (復習) 自分の役割を 自覚し企画を考える。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力
3	岡崎げんき館活動の計 画・立案をする。	演習 計画・立案討議 本日の振り返りをレ ポートにまとめ、 フィードバックする。	ゼミナール活動の目的 と内容について確認 し、後期の実践活動に 対して計画立案に積極 的に参加することがで きる。	(予習) 企画を考え自 分の意見を持ってく る。 (復習) 自分の役割を 自覚し、準備する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力
4	岡崎げんき館活動の企 画をもとに実践計画の 立案をする。	演習 計画・立案討議 本日の振り返りをレ ポートにまとめ、 フィードバックする。	ゼミナール活動の目的 と内容について確認 し、後期の実践活動に 対して計画立案に積極 的に参加することがで きる。	(予習) 自分の意見を 他者に理解できるよう なプレゼンを企画す る。 (復習) 立案を再確認 し自分なりの考えを持 つ。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力
5	岡崎げんき館活動の実 践計画の立案	演習 計画・立案討議 本日の振り返りをレ ポートにまとめフィー ドバックする。	げんき館の企画立案と 準備の立案に積極的に 参加することができ る。	(予習) 計画に対して の意見を持ち発表でき るようにする (復習) 互いの企画を 理解し自分の役割を自 覚し練習をする。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力
6	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい 「作って遊ぼう」の実 践練習	指導の下、実践演習の 練習 本日の振り返りをレ ポートにまとめ、 フィードバックする。	ゼミナール活動の目的 と内容について確認 し、後期の実践活動の 立案に積極的に参加す ることができる。	(予習) 自分の役割を 理解し、練習に臨むよ うにする。 (復習) 自分の役割を 自覚し、実践の練習を 行う。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコント ロール力
7	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい 「作って遊ぼう」の実 践活動 本日の活動の振り返り	実践演習 グループ討議 本日の振り返りをレ ポートにまとめ、 フィードバックする。	ゼミナール活動の目的 と内容について確認 し、後期の実践活動の 立案に積極的に参加す ることができる。	(予習) 役割分担を理 解し、進んで参加す る。 (復習) 振り返り、自 己評価を実践に活か す。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	ボランティア活動：安 城市西部児童センター 「地域まつり」のDVD 鑑賞	演習 DVD鑑賞 本日の振り返りをレ ポートにまとめ、 フィードバックする。	過去のDVDを参考に し、子どもとの関わり を積極的に行うための イメージ作りをする。 自分の役割を意識す る。	(予習) ボランティア 活動の意識を持つ (復習) 保育実践に役 立つ企画を再確認する	90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ボランティア活動：安城市西部児童センター「地域まつり」に参加 実践 本日の活動の振り返り	安城市西部児童館にてボランティア活動 グループ討議 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動の立案に積極的に参加することができる。	(予習) 役割分担を理解し、進んで参加できるようにしておく。 (復習) 実践の振り返り、自己評価を実践に活かす。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力
10	子どもの身近な環境から保育内容を研究する。(秋の自然物を利用して)	グループワーク 秋の自然物を利用した遊びを検討する。 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	グループ討議に積極的に参加し、秋の自然物を使った遊びを知る。	(予習) 秋の自然物を使った遊びを調べておく。 (復習) 他者の意見を聞き、新しい遊びを考える。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力
11	子どもの身近な環境から保育内容を研究する。(秋の自然物を利用して)	実践演習 秋の自然物を使った遊びを実践する 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	秋の自然物を使った遊びを実践し、活用できる。	(予習) 保育内容の指導計画を考えておく。 (復習) 振り返り、自己評価を実践に活かす。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力
12	幼児学ゼミナール研究報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	役割分担を行い、役割を自覚する。 本日の振り返りをレポートにまとめる。	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備の立案に積極的に参加する。	(予習) 抄録作成に向け振り返り、報告会の立案をする。 (復習) 企画に対して自分なりの意見を持つ。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力
13	幼児学ゼミナール研究報告抄録を完成、提出 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	役割分担を行い、自分の役割の検討をする 本日の振り返りをレポートにまとめ、フィードバックする。	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備に積極的に参加する	予習) 抄録作成に向けての準備。また、報告会の意見提案を考える。 (復習) 企画に対して自分なりの意見を持つ。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力
14	ゼミナール報告会に向けてリハーサル	役割分担従い、自分の役割の実践演習 今までの振り返りについて話し合う。内容について解説しフィードバックする。	抄録を完成させ、発表できる	(予習) ゼミ発表会に向け自分の役割を確認する。 (復習) ゼミ発表に向け自分の役割を果たすための練習をする。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力
15	ゼミナール報告会に参加する。 他ゼミナールの報告を視聴し、今後の保育活動につなげる。	演習 役割分担に従い実践する。 他のゼミ発表を視聴する。 本日の振り返りをレポートにまとめる。	これまでのゼミ活動の取り組みを全体に向け、伝えることができる。他の発表を見ることで今後の保育活動の参考とすることができる。	(予習) ゼミ報告会本番に向け自分の役割を再確認する。 (復習) ゼミ活動の振り返りを行い、実践に活かす。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332E	指導法研究Ⅱ（幼児学ゼミナールⅡ：児玉珠美） Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	児玉珠美		共通	1	必修	2後期
科目の概要							
幼稚園教育要領及び保育所保育指針等を踏まえ、各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、地域親子との交流や、「岡崎げんき館」における模擬保育活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学び、抄録集や報告会に向けて研究活動をまとめる。							
学修内容				到達目標			
① 子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究し、実践する。 ② 乳幼児への語りかけ方であるマザリーズについて理解を深め、マザリーズを活かした歌遊びや絵本読み聞かせについて学び、実践する。 ③ 地域の親子との交流や、「岡崎げんき館」の模擬保育活動を通して、乳幼児への語りかけの実践力を身に付ける。				① 子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究し、実践することができる。 ② 乳幼児への語りかけ方であるマザリーズについて理解を深め、マザリーズを活かした歌遊びや絵本読み聞かせについて学び、実践することができる。 ③ 地域の親子との交流や、「岡崎げんき館」の模擬保育活動を通して、乳幼児への語りかけの実践力を身に付けることができるようになる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ゼミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	決められた期限までに課題に取り組み、完成させることができる。					
考え抜く力	課題発見力	ゼミ全体の活動の中で不足している力に気づき、課題の克服に向けて具体的な努力をしていくことができる。					
	計画力						
	創造力	研究活動を抄録集としてまとめ、最終報告会の内容を創り上げることができる。					
チームで働く力	発信力	授業において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。親子との交流において、積極的に語りかけることができる。					
	傾聴力	他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：教員作成プリント 参考文献：「、はじめての幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領・保育所保育指針」フレーベル館、1000円							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての開講科目 資格との関連：幼稚園教諭二種免許、保育士資格							
学修上の助言				受講生とのルール			
幼児学ゼミナールは、保育者養成のすべての学びを総合的かつ実践的に活かしていく授業である。主体的、対話的な姿勢で臨むこと。				・無遅刻・無欠席を厳守すること。 ・結果のみではなく、過程の意欲と努力を評価する。 ・ゼミ全体が前向きな雰囲気になる言動を心がけること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	10	①	✓			・実践活動について、毎回振り返り取りレポートとしてまとめ、今後の課題を常に明確に持つこと。 ①岡崎げんき館活動に関する振り返りレポート ②報告会に関する振り返りレポート
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	80	①	✓			・地域の乳幼児親子との交流や、報告会等に向けて積極的にグループワークに参加したかどうか、交流活動時の成果と同時に、交流までの取り組みの姿勢を重視した評価をする。 ①岡崎げんき館活動 ②抄録集作成 ③報告会発表
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） ゼミナール活動に対し、積極的に関わろうとする言動をすることができる。 （実行力） 決められた期限までに、課題を完成させることができる。 （課題発見力） ゼミ全体の活動の中で不足している力に気づき、課題の克服に向けて具体的な努力をしていくことができる。 （創造力） 研究活動を抄録集としてまとめ、最終報告会の内容を創り上げることができる。 （発信力） グループワークやゼミ全体の討議において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。 （傾聴力） 他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。 （規則性） 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行うことができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レベルS(秀)の基準は、レポート成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が非常に優秀であること、さらに社会人基礎力との総合計が90%以上とする。 レベルA(優)の基準は、レポート、成果発表をにおいて、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究が優秀であること、さらに社会人基礎力との総合計が80%以上、90%未満とする。	レベルB(良)は、レポート、成果発表、社会人基礎力レポート成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究にしっかりと取り組めていること、さらに社会人基礎力との総合計が70%以上、80%未満であることとする。 レベルC(可)の基準は、レポート、成果発表において、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法の研究に自分なりに取り組んでいること、さらに社会人基礎力との総合計が60%以上、70%未満とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	前期の活動を振り返り、後期の活動内容及び役割等について討議し、決定する。	演習 全体ディスカッション	後期の活動内容とスケジュールについて理解できる。自分の取り組みたい内容を発表し、主体的に関わる意識を持つことができる。	(予習)ゼミナールで挑戦したことを考えておく。 (復習)後期の活動で担当希望の役割を考えておく。	90	主体性 発信力 傾聴力
2	各自、ゼミ活動の中で取り組む内容を考える。後期の活動内容及び役割等について討議し、決定する。	演習 前回授業内容の確認によるフィードバック 全体ディスカッション	全体ディスカッションに積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)希望の役割を考えておく。 (復習)役割についてさらに検討し、工夫しておく。	90	主体性 発信力 傾聴力
3	抄録集作業① これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。 全体構成を決定する。 各自の担当箇所を決定する。	演習 全体ディスカッション	抄録集作成に向けて、積極的に関わる努力をすることができる。	(予習)抄録集に使用する資料を整理しておく。 (復習)担当箇所についての資料を整理する。	90	主体性 実行力 規律性
4	抄録集作業② これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。 各担当箇所ページの資料編集作業をする。	演習 情報機器作業 全体ディスカッション によるフィードバック	抄録集の担当作業に、自分なりの工夫をし、創り上げることができる。	(予習)担当作業について、手順等を調べておく。 (復習)担当ページの編集作業を進める。	90	実行力 創造力
5	抄録集作業③ これまでの活動内容を、抄録集としてまとめる。 全体編集作業をし、第一校を印刷する。	演習 全体ディスカッション	当日までの準備作業に積極的に取り組むことができる。 挨拶や言葉かけの重要性を理解し、	(予習)全体レイアウトのアイデア等検討しておく。 (復習)第一校の校正をする。	90	実行力 課題発見力 創造力
6	幼児学ゼミナール報告会に向けての準備① 報告会の構成、内容、担当を検討し、決定する。	演習 全体ディスカッション	当日の役割を自覚し、リハーサルに取り組むことができる。	(予習)ゼミナール報告会の内容案をまとめる。 (復習)報告会の内容、担当についてさらに検討する。	90	主体性 実行力 創造力
7	岡崎げんき館準備① 岡崎げんき館活動内容を決定する。当日の役割分担と準備、練習について検討する。	演習 成果発表 全体ディスカッション によるフィードバック	参加する子どもたちの発達過程を考慮した内容を考えることができる。	(予習)前期岡崎げんき館を振り返り、改善点等をまとめる。 (復習)役割について、表現工夫等アイデアをまとめる。	90	主体性 発信力 傾聴力
8	岡崎げんき館準備② 岡崎げんき館の練習をし、自分及び全体の課題を明らかにする。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	岡崎げんき館の練習に、積極的に関わる努力をすることができる。	(予習) (復習)課題について取り組んでおく。	90	実行力 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	岡崎げんき館準備③ 岡崎げんき館活動練習 とリハーサルを通して、 創造力を身に付ける。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	自分の役割を理解し、 岡崎げんき館活動に向 けて、練習での課題を 解決できるよう努力す ることができる。	(予習) 練習での課題 を練習しておく。 (復習) リハーサルで うまくいかなかった点 を練習しておく。	90	実行力 創造力 発信力
10	岡崎げんき館活動 第1回岡崎げんき館活 動を実施する。 11/26	演習 成果発表	0歳児親子との交流を 通して、乳幼児親子へ 積極的な語りかけをす る努力ができる。手遊 びや絵本よみきかせ 等、マザリーズを活か した語りかけができ る。	(予習) 岡崎げんき館 活動の流れ等を確認 し、様々な場合を想定 し、言葉かけの内容等 も考えておく。 (復習) 振り返りシー トに記入し、自分の課 題を見出す。	90	創造力 発信力 傾聴力
11	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備② 岡崎げんき館活動を振 り返り、まとめる。 報告会の構成、内容を 決定し、作業に取り掛 かる。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	乳幼児への語りかけ 方、接し方、保護者の 方への語りかけ方等 について、自分振り返 りと同時に、他者の意 見を通して、理解する ことができる。	(予習) 岡崎げんき館振 り返りシートを完成さ せる。 (復習) 報告会	90	主体性 課題発 見力 状況把 握力
12	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備③ 各担当箇所について、 練習する。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	自分の担当箇所につ いて、自分なりの工夫 をしながら創り上げて いくことができる。	(予習) 子どもたちの発 達過程の適した遊びを 考えておく。 (復習) 発表に活動に必 要な製作物の準備をす る。	90	主体性 実行力 創造力
13	幼児学ゼミナール報告 会に向けての準備④ 各担当箇所についての 発表、意見交換を通し て、より良い発表内容 を検討する。	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	責任を持って、担当 箇所の発表ができる。 他学生からの助言を謙 虚な姿勢で受け止める ことができる。	(予習) 自分の役割担当 や言葉について暗記 し、練習しておく。 (復習) うまくできな かった点について、各 自練習する。	90	主体性 実行力 創造力
14	幼児学ゼミナール報告 会の練習及びリハーサ ル	演習 全体ディスカッション によるフィードバック	他学生との協力をしな がら、全体の進行がス ムースにいくように配 慮することができる。	(予習) リハーサルで うまくいかなかった点 を練習しておく。 (復習) 岡崎げんき館 振り返りシートに記入 する。	90	
15	幼児学ゼミナール報告 会で成果発表をする。	演習 成果発表 振り返りレポートによ るフィードバック	1年間のゼミ活動の成 果発表として、報告会 での役割を果たすこ とができる。	(予習) 報告会の練習に 各自取り組む。 (復習) 保育現場に向け て、さらなる課題を見 出す。	90	

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332F	指導法研究Ⅱ（幼児学ゼミナールⅡ：谷村和秀） Seminar：Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	谷村 和秀		専門	1	必修	2年後期
科目の概要							
①岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。 ②障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実施する。 ③幼児学ゼミナール抄録集の制作や幼児学ゼミナール報告会での報告を通して、インクルーシブ保育・教育について深めていく。							
学修内容				到達目標			
① 乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を深める ② 障がいのある子どもを理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。 ③ 幼児学ゼミナール抄録集を作成や幼児学ゼミナール報告会での口頭発表を行う。				① 幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが説明できる。 ② 障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが説明できる ③ インクルーシブ保育・教育の考えを深め、実践することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：特になし 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての開講科目 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許							
学修上の助言				受講生とのルール			
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。				① 無断欠席や遅刻をしない学生 ② 積極的にゼミ活動に参加できる学生 ③ 自己選択・自己責任ができる学生			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
		レポート	50	①	✓				① 岡崎げんき館の活動を通して、学んだこと考えたことをまとめる ② 「ヤングアスリートプログラム」の活動を通して、学んだこと・考えてことをまとめる。
				②	✓				
				③	✓				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓				岡崎げんき館活動やヤングアスリートプログラムなど1年間のゼミナール活動を抄録集や幼児学ゼミナール報告会でまとめる
				②	✓				
				③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				（主体性）課題を取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 （実行力）一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 （課題発見力）思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 （発信力）ゼミメンバー及び利用者（親子・障がいのある子ども）に伝わるように表現できる。 （傾聴力）教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規則性）遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる	
			②	✓					
			③	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる。 ②障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる ③インクルージブ保育・教育を考え、深めることができる ④総合評価が90点以上はS（秀）、89～80点はA（優）とする。	①幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解できる。 ②障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解できる ③インクルージブ保育・教育を考えることができる ④総合評価が79～70点はB（良）、69～60点はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	岡崎げんき館活動の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動について、抄録集を読むこと (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で作成した指導案に基づいて、制作やリハーサルを行う。	演習	①岡崎げんき館活動で行う内容が理解できる	(予習) 前回の演習で作成した指導案に基づいて、準備物を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動で行うことを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	岡崎げんき館活動 ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	岡崎げんき館活動を振り返る（レポート作成）	演習 岡崎げんき館のフィードバックを行う	①親子に対して考えた遊びを評価することができる	(予習) 岡崎げんき館活動の振り返りを行う (復習) 親子に対しての遊びを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動の準備① ヤングアスリートプログラムについて学ぶ	演習	①ヤングアスリートプログラムについて理解する	(予習) 子どもの特性を調べる。 (復習) 障がいのある子どもに対しての遊びを調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動の準備② ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動① 立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの展開方法が理解できる	(予習) ①ヤングアスリートプログラムの役割を理解する。 ②立案した遊びを確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動② 職員が考えたプログラムに参加する。		障がいのある子どもに関わる視点が理解できる。	(復習) ①ヤングアスリートプログラムでの活動を振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	ヤングアスリートプログラムでのゼミ活動の振り返りを行う(レポート作成)	演習 ヤングアスリートプログラムのフィードバック	障がいのある子どもに対しての遊びのプロセスが理解できる	(予習) ①ヤングアスリートプログラムでの活動を振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習	抄録集の作業工程が理解できる。	(復習) それぞれの活動の振り返りを用意しておくこと。 (復習) 幼児学ゼミナール抄録集を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	①幼児学ゼミナール抄録集を見直す。 ②幼児学ゼミナール報告会について説明を行う。	演習	①抄録集の担当箇所が誰にも読みやすいものになっている。 ②幼児学ゼミナール報告会に向けての作業工程がわかる。	(予習) 幼児学ゼミナール抄録集を作成する (復習) 幼児学ゼミナール抄録集を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	①幼児学ゼミナール抄録集を完成する ②幼児学ゼミナール報告会の準備を行う	演習	①幼児学ゼミナール抄録集を完成できる ②幼児学ゼミナール報告会で与えられた役割を理解する	(予習) 幼児学ゼミナール抄録集を確認する (復習) 幼児学ゼミナール報告会の役割を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う	演習	v①幼児学ゼミナール報告会で口頭発表ができる状況になる	(予習) 幼児学ゼミナール報告会の原稿を作成する。 (復習) 幼児学ゼミナール報告会で読む、原稿を確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会で口頭発表等を行う。	演習	1年間、ゼミナールで行なったことを伝えることができる。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会で読む、原稿を確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332G	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：津島忍) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	津島 忍		共通	1	必修	2後期
科目の概要							
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。							
学修内容				到達目標			
① ピアノ連弾の学修では、連弾を核とした音楽劇の実演に取り組み、より高度な技能、表現力を学び、企画、準備、運営の方法体験する。 ② 岡崎げんき館では「楽器で遊ぼう」をテーマに楽器を使い親子で楽しむ音楽遊びの実践を行う。				① 連弾を核とした音楽劇の実演に取り組むことにより、より高度な技能、表現力を身に着け、企画、準備、運営などの保育現場での行事運営の基礎を習得できる。 ② 岡崎げんき館での楽器遊びの実践を通して、保育現場で実践できる本的知識や技能を習得できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素			学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題に取り組むために必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：必要に応じて連弾曲の楽譜を購入したり、資料を配布したりすることがある。 参考文献：ピアノ絵本館シリーズ①～⑫ 全音楽譜出版社刊、「わくわく音遊びでかんたん発表会」細田淳子 著 鈴木出版 1,800円 必要に応じて資料を配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：幼児表現（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、子どもの音楽表現、保育内容（表現） 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格							
学修上の助言				受講生とのルール			
連弾の練習の前に個人での予習（練習）が必要である。また連弾の練習においても、時間外での予習・復習(練習)が必ず必要である。積極的な意見の交換が必要である。				2人一組での練習が欠かせないので、最低限守るべきルール・マナー・約束を理解し、相手に迷惑をかけない。げんき館での活動は集団でのチームワークを意識する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
		レポート	0	①				
				②				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・15週目の授業において、ゼミ内で発表し、ゼミ報告会において学外へ発表する。表現力、技術力、準備段階の活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（70点） ・岡崎げんき館での活動内容の準備及び本番での活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。（20点）
②				✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）（実行力）（課題発見力） ・苦手な部分の克服や技術の習得のために自ら練習をすることができる。 （創造力）（発信力） ・発表・演奏において、学んだことを更に工夫し発表することができる。 （傾聴力） ・相手と、良くコミュニケーションを取り、迷惑をかけない。グループ活動へ積極的に関わる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・音楽劇の核となる連弾曲をA（優）は情感豊かに表現し、演奏技術の上達、獲得が顕著で、安定した演奏ができる。また、準備段階において積極的に活動できる。 S（秀）は演奏技術、表現に特に優れ、常に安定した演奏ができる。また、準備段階において積極的にリーダーシップをとり自分の役割をはたして活動できる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が特に顕著である。	・連弾曲をB（良）は間違えることなく最後まで演奏し、演奏技術の上達、獲得がみられ、準備段階で協力的である。C（可）は演奏する曲を二人で最後まで演奏することができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方（連弾を核とした発表方法について） 連弾曲の選曲と企画内容の検討	講義・演習	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。	（予習）アイデアを出す （復習）企画会議での問題点の検討	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	連弾曲の選曲と企画内容の検討 連弾曲の個人練習と指導	演習（企画会議、個人練習および個人指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。 曲を個人練習し、指導を理解し実行できる。	（予習）企画会議での意見出しの準備 （復習）企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	幼児学ゼミナール報告会中間発表準備 連弾曲の選曲と企画内容の検討 連弾曲の個人練習と指導	演習（企画会議、個人練習および個人指導） 幼児学ゼミナール報告会中間発表準備 フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲の選曲、幼児学ゼミナール報告会中間発表準備・企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。 曲を個人練習し、指導を理解し実行できる。	（予習）幼児学ゼミナール報告会 中間発表会議での意見出しの準備 （復習）幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	幼児学ゼミナール報告会 中間発表準備	演習（幼児学ゼミナール報告会 中間発表準備）	幼児学ゼミナール報告会中間発表準備に参加し、指導を理解し、発表に向けて内容をまとめることができる。	（予習）幼児学ゼミナール報告会 中間発表会議での意見出しの準備 （復習）幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	幼児学ゼミナール報告会 中間発表	演習（幼児学ゼミナール報告会 中間発表）	幼児学ゼミナール報告会 中間発表に向けて準備した内容を発表する。	（予習）幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の確認 （復習）幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の反省点の洗い出し	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	幼児学ゼミナール報告会 中間発表の振り返り 連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習（企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	（予習）幼児学ゼミナール報告会 中間発表内容の問題点の洗い出し （復習）企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習（企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	（予習）企画会議での意見出しの準備 （復習）企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習（企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	（予習）企画会議での意見出しの準備 （復習）企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習（企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	（予習）企画会議での意見出しの準備 （復習）企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案の作成 連弾曲のペアでの練習と指導	演習（ペアでの練習およびペアでの指導、全員参加の企画会議） フィードバックはレッスン内で行う。	企画会議に積極的に参加し、協力して計画を立案検討できる。 連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	（予習）岡崎げんき館の企画会議での意見出しの準備 （復習）岡崎げんき館の企画内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案に基づいた模擬実習の実施と改善	演習（全員参加の企画会議および模擬実習の実施と改善方法の検討） フィードバックはレッスン内で行う。	企画案に基づき、模擬実習を実施し、改善案を提案できる。	（予習）岡崎げんき館の企画会議での意見出しの準備 （復習）岡崎げんき館の企画内容の整理	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動	演習（全員参加の岡崎げんき館での実践発表）	準備した内容を実施できる。	（予習）岡崎げんき館の企画内容の確認 （復習）岡崎げんき館の企画内容の反省点の洗い出し	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動の振り返り 連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習（反省会、企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	反省会に参加し、連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	（予習）岡崎げんき館の企画内容の問題点の洗い出し （復習）企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導 音楽劇の本番形式での通し稽古の準備	演習（企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導） フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。 次週の通し稽古に向けて準備する。	（予習）連弾曲の個人およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会の本番形式での通し稽古	演習（通し稽古） フィードバックはレッスン内で行う。	幼児学ゼミナール報告会の本番形式で実演し、最後まで演奏する。	（予習）連弾曲の個人およびペアでの練習 （復習）ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332H	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：服部壮一郎) Seminar：Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	服部 壮一郎 (クラス分け)		共通	1	必修	2後期
科目の概要							
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、保育・幼児教育の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。							
学修内容				到達目標			
① 各自が決定した研究課題に取り組み、絵本や物語についての理解を深める。 ② 岡崎げんき館にて「おはなし会」を開催し、絵本を題材とするあそびの展開を考える。 ③ 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」において研究成果を報告・発表する。				① さまざまな絵本や物語の世界に触れ、その魅力やおもしろさを伝えることができる。 ② あそびが展開するような工夫を交えておはなし会を開催することができる。 ③ 抄録集やプレゼンテーションを通して自分の実践や研究を報告・発表することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	自分ひとりではできないときに人の力をかりるための声掛けができる。					
	実行力	作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし 参考文献：代田知子『読み聞かせわくわくハンドブック～家庭から学校まで～』一声社、2001年。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての科目と関連する。 資格との関連：保育士資格、幼稚園教諭二種免許状							
学修上の助言				受講生とのルール			
積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。				学生相互の協力関係が大切である。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
		レポート	0	①					
				②					
				③					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓				・各ゼミナールの担当教員が評価する。 ・「研究課題への取り組み」や「活動に対しての説教的参加態度」、「げんき館での活動」を評価する。
				②	✓				
				③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） 課題に取り組むにあたって、必要な知識を文献を使って自己学修をすることができたか。 （実行力） 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 （創造力） 物事を考える時に、固定概念に捉われないことなくいろいろな方向から考えることができたか。 （発信力） 予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 （傾聴力） 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性） 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓					
			③	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
自分の研究課題に主体的に取り組むことができ、研究成果を報告・発表することができる。 おはなし会の開催に向けて協力的に活動し、当日参加した親子に物語の世界を伝えることができる。 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	ゼミナールでの活動を報告・発表することができる。 おはなし会の準備に参加し、おはなし会を開催することができる。 総合評価79～70はB（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミ活動の目的と内容 について確認し、活動 予定を企画・立案す る。	演習 前期の課題を評価し、 フィードバックする。	ゼミの活動を理解し、 個人の目標を設定す る。	(予習) 前期にあげた 課題を振り返ってお く。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	個人の研究テーマを決 定する。	演習 研究テーマについて評 価し、フィードバック する。	個人の研究テーマを決 定できる。	(予習) 自分の研究 テーマを考えてくる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	個人の研究テーマにも とづき、読み聞かせの 教育的意義を研究す る。	グループワーク 研究状況について評価 し、フィードバックす る。	学生同士や教員との相 互交流により自分の研 究を深められる。	(予習) 研究テーマ (絵本の題材、発達と の関連、方法など) に ついて調べる。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
4	個人の研究テーマにも とづき、読み聞かせの 教育的意義を研究す る。	グループワーク 研究状況について評価 し、フィードバックす る。	学生同士や教員との相 互交流により自分の研 究を深められる。	(予習) 研究テーマ (絵本の題材、発達と の関連、方法など) に ついて調べる。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
5	個人の研究テーマにも とづき、読み聞かせの 教育的意義を研究す る。	グループワーク 研究状況について評価 し、フィードバックす る。	学生同士や教員との相 互交流により自分の研 究を深められる。	(予習) 研究テーマ (絵本の題材、発達と の関連、方法など) に ついて調べる。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
6	個人研究中間発表	グループ討議 個人研究について発表 し、評価し合い、 フィードバックする。	ゼミ活動に積極的に参 加し、自分の意見を伝 える。	(予習) 発表の準備を する。 (復習) 課題を改善で きるようにする。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
7	個人研究中間発表	グループ討議 個人研究について発表 し、評価し合い、 フィードバックする。	ゼミ活動に積極的に参 加し、自分の意見を伝 える。	(予習) 発表の準備を する。 (復習) 課題を改善で きるようにする。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
8	岡崎げんき館での活動 計画を企画・立案す る。	演習 グループワーク 企画・立案内容を評価 し、フィードバックす る。	活動計画の企画・立案 に積極的に参加する。	(予習・復習) 岡崎げ んき館での活動の準備 をする。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	岡崎げんき館での活動計画をもとにリハーサルをする。	演習 グループワーク 準備状況を評価し、フィードバックする。	活動計画をもとに自分の役割を理解できる。	岡崎げんき館での活動の準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	岡崎げんき館での活動計画をもとに実践する。	実践演習 実践を評価し、フィードバックする。	他の学生と協力することができる。	(予習・復習) 岡崎げんき館での活動の準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	岡崎げんき館での実践を振り返り、課題をまとめる。	演習 グループワーク 実践の課題を評価し、フィードバックする。	自分の課題をあげることができる。	(予習) 岡崎げんき館での実践を振り返っておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習 グループワーク 作成状況を評価し、フィードバックする。	個人研究の成果を文章にまとめることができる。	(予習・復習) 個人研究をまとめておく。	90	主体性 実行力 発信力 規律性
13	幼児学ゼミナール抄録集を完成させる。	演習 グループワーク 抄録集を評価し、フィードバックする。	個人研究の成果を文章にまとめることができる。	(予習・復習) 個人研究をまとめておく。	90	主体性 実行力 発信力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習 グループワーク 準備状況を評価し、フィードバックする。	自分の役割を理解して他の学生と協力できる。	(予習・復習) 幼児学ゼミナール報告会の準備をする。	90	主体性 実行力 発信力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会で発表する。	実践演習 報告を評価し、フィードバックする。	読み聞かせの教育的意義とその方法を伝えることができる。	(予習・復習) 幼児学ゼミナール報告会の準備をする。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332I	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：本多峰和) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	本多 峰和		共通	1	必修	2後期

科目の概要

多様な音楽表現における視野をさらに広げ、子どもたちにおける音楽表現を研究する。げんき館では、研究成果を発揮し親子で楽しく歌ったり、踊ったりすることを活動目標とする。子どもたちにおける音楽表現の研究成果および「げんき館」での活動報告を幼児学ゼミナール報告会で発表する。1年の成果を「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」にまとめる。

学修内容	到達目標
① 子どもの音楽表現の技術について考える。 ② 実践を通し、どのような音楽表現が子どもにとって楽しいかを考える。 ③ 岡崎げんき館に向けて指導案を考える。 ④ 幼児学ゼミナール報告会に向けての発表内容を考える。 ⑤ 幼児学ゼミナール研究報告抄録集の作成。	① 子どもの音楽表現の技術について考えることができる。 ② 実践を通し、どのような音楽表現が子どもにとって楽しいかを考えることができる。 ③ 岡崎げんき館に向けて指導案を考えることができる。 ④ 幼児学ゼミナール報告会においてわかりやすく発表することができる。 ⑤ 幼児学ゼミナール研究報告抄録集を期日までにまとめて作成することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

参考文献：「子どものあそびとうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「童謡・唱歌の世界」金田一春彦著、「唱歌・童謡100の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・岩井正浩著、「オペラでわかるヨーロッパ史」加藤浩子著、「オペラへの招待」ジョン・ルイス・ディガニエターニ著、「オペラ史 上」D・J・グラウト著、「オペラのすべて」アレクサンドロ・タヴェルナ著、「知識ゼロからの ミュージカル入門」塩田明弘著、「ミュージカルおもしろ雑学事典」石原隆司著、「ブロードウェイ・ミュージカル」井上一馬著、「ミュージカル史」小山内伸著、「バレエの世界へようこそ：あこがれのバレエ・ガイド」リサ・マイルズ著、「ビジュアル版バレエ・ヒストリー バレエ誕生からバレエ・リュスまで」芳賀直子著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究協会編、「世界のあそび歌35／40」後藤田純生著、「なぜ、いま学校で「表現教育」なのか？」芸団協出版部、「幼児期」岡本夏木著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現（音楽）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子どもの音楽表現
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	15	①	✓			岡崎げんき館での活動についての振り返りおよび反省レポートを提出し、評価する。 1000～1200字 後日提出したものは80%の評価とする。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	75	①	✓			「岡崎げんき館へ向けての活動」：準備段階での積極的な意見や発言、協調性。そして「幼児学ゼミナール中間報告会」「幼児学ゼミナール報告会」「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」に対する意欲的な取り組みを評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) 課題に取り組むにあたり、必要な知識を文献を用いて自己学習することができたか。 (実行力) 一度決めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (創造力) 物事を考える時に、固定観念に捉われないことといろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義で身に付けた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して深く理解をしている。 A（優）の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して理解をしている。	B（良）の基準 協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。 C（可）の基準 協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「岡崎げんき館」での反省・振り返り	グループワーク フィードバック（討議 内容を評価する）	ゼミ生全員の「岡崎げんき館」での反省・振り返りをもとに、各自レポートを書く。自分ひとりではなく、全員の反省・振り返りを知ること、さらに「げんき館」での活動の在り方を考えることができる。	（復習） レポートに記述したことをもう一度熟読する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	幼稚園の音楽発表会を鑑賞し、子どもたちにおける音楽表現を考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック（討議 内容を評価する）	幼稚園の音楽発表会を鑑賞し、子どもたちにおける音楽表現を考えることができる。	（復習） 映像鑑賞で印象に残ったことをノートに書き留める。	45	主体性 課題発見力 創造力 規律性
3	ゴスペルにおける音楽表現から、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック（討議 内容を評価する）	ゴスペルにおける音楽表現から、保育に活かせる音楽表現について考えることができる、	（復習） 声における音楽表現についてさらに理解を深める。	45	主体性 働きかけ力 発信力 柔軟性 規律性
4	ボディパーカッションから、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック（討議 内容を評価する）	ボディパーカッションから、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	（復習） 体から奏でられる音についてさらに理解を深める。	45	主体性 働きかけ力 発信力 柔軟性 規律性
5	子どもの成長発達と音楽性について考える。	講義 演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	子どもの成長発達と音楽性について考えることができる。	（復習） 参考資料を読み理解を深める。	45	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
6	子どもの音楽表現の技術について考える。	講義 演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	子どもの音楽表現の技術について理解し、指導法を自分なりに考えることができる。	（復習） 参考資料を読み理解を深め自身の音楽表現を振り返る。	45	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
7	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	子どもが楽しめる音楽表現を考え、活動内容を討議できる。	（復習） 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡のおさらい。	45	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック（演習、討議内容を評価する）	子どもと保護者が楽しめる音楽表現を考え、活動内容を討議できる。	（復習） 保護者で行う音楽表現について理解を深める。	45	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワークフィードバック（演習、討議内容を評価する）	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業ができる。質のよい手作り楽器を目指す。	（復習） 手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	45	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	「岡崎げんき館」での活動 および振り返り	演習 グループワークフィードバック（演習、討議内容を評価する）	子どもおよび、子どもと保護者が楽しめる音楽表現を笑顔で活動できる。行った活動に対しての振り返りから各自が様々なことを学ぶ。	（復習） 岡崎げんき館での活動の反省と振り返りをする。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワークフィードバック（演習、討議内容を評価する） PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業。	（予習） 抄録集の写真をまとめる。 （復習） パワーポイントの見直し。	60	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワークフィードバック（演習、討議内容を評価する） PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業。	（予習） 抄録集の写真をまとめる。 （復習） パワーポイントの見直し。	60	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワークフィードバック（演習、討議内容を評価する） PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 子どもにおける音楽表現、調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業。	（予習） 抄録集の写真をまとめる。 （復習） パワーポイントの見直し。	60	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワークフィードバック（演習、討議内容を評価する） PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 子どもにおける音楽表現、調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめる。 研究抄録集の編集作業。	（予習） 抄録集の写真をまとめる。 （復習） パワーポイントの見直し。	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動 「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」の作成	演習 グループワークフィードバック（演習、討議内容を評価する） PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 子どもにおける音楽表現、調べ学習、岡崎げんき館での活動をパワーポイントにまとめ、研究抄録集の編集作業を終了する。	（復習） ゼミナール報告会に向けての最終確認。抄録集の最終確認。	60	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332J	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：山本辰徳) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	山本 辰典			1	必修	2 後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、色々な課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育（保育）の実戦につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。

学修内容	到達目標
① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができるようにする。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 ③ 活動報告を文章化し、報告することができるようにする。	① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができる。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 ③ 活動報告を文章化し、報告することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	提出物の期限を守ることができる。
考え抜く力	課題発見力	指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。
チームで働く力	発信力	指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。
	傾聴力	計画者の案を理解し、グループ活動することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現（造形Ⅰ）、幼児表現（造形Ⅱ）、保育内容（表現）
資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
テキスト：なし 参考文献：なし	・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする。 ・全ての提出物を出さないと及第しない。 ・提出期限に遅れた場合は減点する。 ・授業態度が悪い場合は減点することがある。 ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・ものづくり計画をしっかりと立案できたか。 ・段取りがしっかりできたか。 ・制作を完遂できたか。 ・活動報告を小論にすることができたか。 ・パワーポイントで資料を作成することができたか。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：自ら進んで学修をすることができる。 実行力：提出物の期限を守ることができる。 課題発見力：指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。 創造力：指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。 発信力：指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。 傾聴力：計画者の案を理解し、グループ活動することができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。 子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 S（秀）になるためには、全課題の合計が90点以上であること。	子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。 造形素材のレポートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 Cについては、15週予定表参照のこと。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション	講義	授業内容を理解することができる	(復習) 授業で学修したことを復習する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
2	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
3	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
4	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
5	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動 フィードバック (活動の評価)	計画した内容に基づいて子どもの指導ができる 親と関わるができる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 傾聴力
6	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
7	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。	180	主体性 課題発見力 計画力 発信力
8	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
10	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備でできていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
11	ゼミ抄録集の原稿作成	演習 フィードバック (演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習) 前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習) 原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゼミ抄録集の原稿作成	演習 フィードバック (演習の評価)	(予習) 前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習) 原稿の推敲をする。	(予習) 前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習) 原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ゼミ抄録集の原稿作成 ゼミ報告会の原稿作成	演習 フィードバック (演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習) 前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習) 原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ゼミ報告会の原稿作成 リハーサルの実施	演習 フィードバック (演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習) 前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習) 原稿の推敲をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ゼミ報告会の原稿作成 リハーサルの実施 まとめ	演習 フィードバック (演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習) 前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習) 原稿の最終チェックをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力